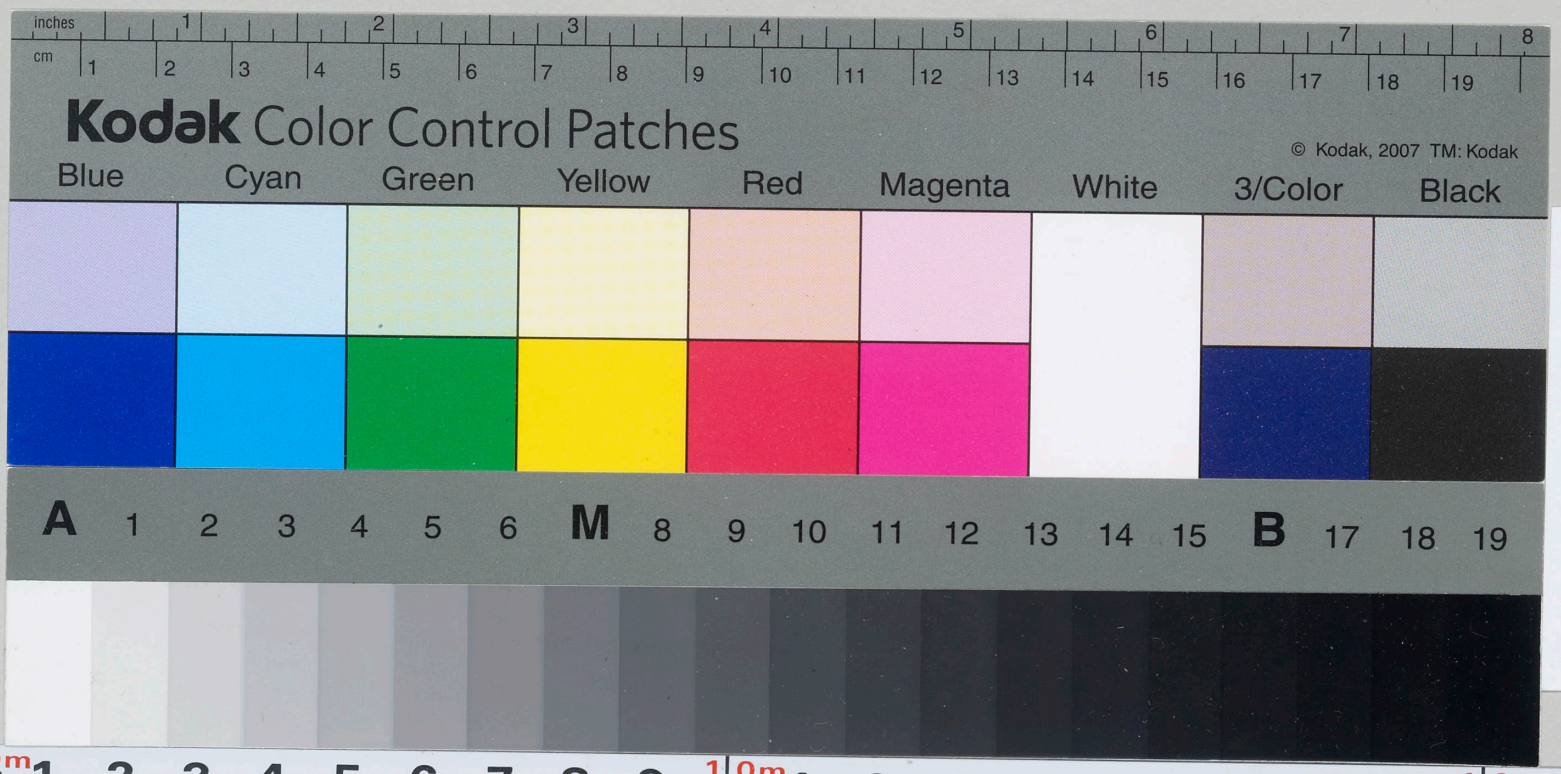


〔従七位新井春次郎述〕解剖学　巻之三

解剖學名詞論目次

緒論

(一)解剖學之名

A.背面

頭骨

第一節 頭骨之概觀

第二節 頭骨之構造

第三節 頭骨之發育

第四節 頭骨之變異

B.解剖學之分面

頭面

直頭面

外形頭面

內部頭面之概觀

目錄

一 ……
二 ……
三 ……
四 ……
五 ……
六 ……
七 ……

筋學 *Myologia (Muskellehre)*

緒論

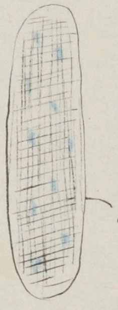
筋 *Muscul (Muskel)* ハ身体ノ運動機ニシテ之レニ二種アリ且ツ意識ニ隨テ運動スルモノヲ隨意筋 *Willkürliche muskeln* トセヤハ意識ト隨フモノヲ不隨意筋 *Unwillkürliche muskeln* トイフ又形態ニ因リ二種ニ分ケ獨リ運動ノ異ナルノミナラズ形造モ異ニシ又其ノ筋纖維ノ集合ニ依テ成立ツモノヲ橫紋筋 *Querstreifte muskeln* トイヒ單ニ一ノ纖維ヨリ成ルモノヲ平滑筋 *Glatte muskeln* トイフ故ニ隨意筋ハ必ラス一名橫紋筋トモ不隨意筋ハ平滑筋トモ稱ス纖維ハ *Faser*

池田屋書店

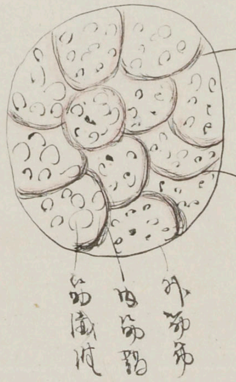
Muskeln）ト云フ而シテ其ノ象下ニ就テ之ヲ骨平滑筋ハ論セスシテ横紋筋ニ就テ論ス
横紋筋ハ骨格筋ナル筋トス（即チ骨格ニ附着スルモノ）平滑筋（即チ内臓ニ附着シ張ルモノ）及
臓ノ筋トス此筋ハ内臓ノ象下ニ於テ論ス
横紋筋ハ骨及ヒ関節ノ周囲ニ現ハルヽモノニシテ通例肉ト称スルモノハ之レ筋ナリ而シテ
筋ノ縮ムトキハ骨格ハ運動ス即チ此筋ハ短縮スルモノナリ

横紋筋ノ構造

横紋筋ハ横紋筋纖維ノ集束ヨリ成ル而シテ横紋筋纖維ハ両端ハ鈍円ニナリ長円
柱形ヲナシ其レハ此微ノ紋理アルガ故ニ横紋筋トス而シテ其周囲ハ無構
造ノ膜ニテ被ハル之ヲ筋纖維鞘（Sarcolemma）ト云フ筋纖維鞘ノ下ニハ多ク
核アリ核ハ其形楕円形ニシテ其長軸ハ鞘ノ長軸ニ随テ排列ス纖維ハ相集束
シテ筋束ヲ製ス而シテ之ノ集束ハ各結締組織ヲ以テ取囲マル其筋束ガ相集合シテ筋
トナリテ形成ス其筋ノ周囲モ亦結締組織ヲ以テ周囲セラルヽナリ外筋
鞘 Perimysium externum ト名ケ而シテ其内ニ於テ筋束ヲ周ラスモノヲ内筋鞘 Perimysium
internum ト名ケ而シテ其内外ノ筋鞘ニ至ハ運搬スル部分ハ筋中ニ分布スル血管
神経ノ通路トナル内外ノ筋鞘ハ解剖スル際ニ刀ヲ以テ離スヘキヲ得又其ノ離スヘキ所ノ
モノハ筋膜 Fascia ナリ



以上論スル横紋筋ハ赤色柔軟ニシテ大小不同ナリ而シテ其筋ハ直チニ骨併
中ノ骨軟骨関節膜等ニ附着スルモノアリ更ニ尾ニ多クハ腱 Tendo ニ至ル
腱膜 Aponeurosis ニ繋カリ依テ硬部ヲ硬部ニ附着シ或ハ硬部ヲ軟部ニ
附着シ或ハ軟骨ヲ軟骨ニ附着セルモノアリ例令ハ顔面筋ノ如シ



筋ノ形状 Form der Muskeln

筋ハ三部ヲ成ル即チ中部両端是ナリ
中部ナル筋ノ体 Corpus (Korper) 腹 Venter (Bauch) ト云フ
両端中其附着堅牢ニシテ運動少キ端ヲ起首 Origo (Ursprung) 又其
Punctum fixum 頭 Caput ト名ツク又他ノ一端ヲ停止 Inser-
tio (Ansatz) ト名ツク之ノ部分ハ運動ノ端ニテ又動点 Punctum mo-
bile ト云ヒ頭ニ対シ尾 Cauda (Schwanz) ト云フ筋ハ先ツ起首ハ腱ニ始マリ

停止部に手腕を附着して肘を屈伸せしめ或は掌の如し肘 elbow 肘関節 articulatio cubiti

腕とは主として動かされ易き部を称す例えば肩と肘との間を腕と称し肩胛と前腕とを連ぬる部を肩と称し前腕と手とを連ぬる部を手首と称し一般に論ずれば軀幹と四肢との間を腕と称し軀幹と四肢との下部とを連ぬる部を腕と称す(又四肢の上部と下部とを連ぬる部を腕と称す)

上腕 brachium 長節 Mittelbein 短節 Unterschenkel 前腕 antebrachium 短節 Vorderbein 手 manus 前肢 Vorderbein 後肢 Hinterbein

(一)長節 縦捻ぢれ比べて縦に走る腱と筋とを有し手にまで及ぶ而して腱と筋とは円柱状、紡錘状

雛体肢より出でて

(二)短節 扁平なる筋を有し腱これに附着す

(三)腱 筋より起りて骨に附着す

(四)筋 腱より起りて骨に附着す

(五)関係

筋と腱との関係

筋と腱とは筋より起りて腱に移行するを普通とす腱は筋より起りて骨に附着するを普通とす

附着部(附着部とは筋又は腱が骨に附着する部を称す)には腱膜 aponeurosis 腱膜とは膜状を呈する腱を称す

筋膜 fascia 筋膜とは筋を包める膜状の結合組織を称す

筋膜中の穿通筋膜と筋膜とを連ぬる膜状の結合組織を称す

羽状筋 musculus pennatus (gefiederte muskeln) とは腱膜が筋の一方より腱膜に附着し而して筋線維が羽状筋 musculus pennatus とは筋線維が腱膜に対して斜に走るを称す

ヲ劃リ狭キ停止部ニ向ヒ附着スルモノアリ此ノ筋ヲ放係狀筋 Musculus Radiatus トイフ（頭頸筋トモイフ）又ハ頭ヲ後ヘ引キ一ツノ肋腹筋トナリ一個ノ腱索ニ附着スルモノアリ此ノ筋ヲ頭ノ對ニ隨ヒ

二頭筋 Musculus biceps

三頭筋 Musculus triceps

四頭筋 Musculus quadriceps

五筋ノ壹頭ヨリ起リ對尾ニ至ルヲ此ノ筋ヲ

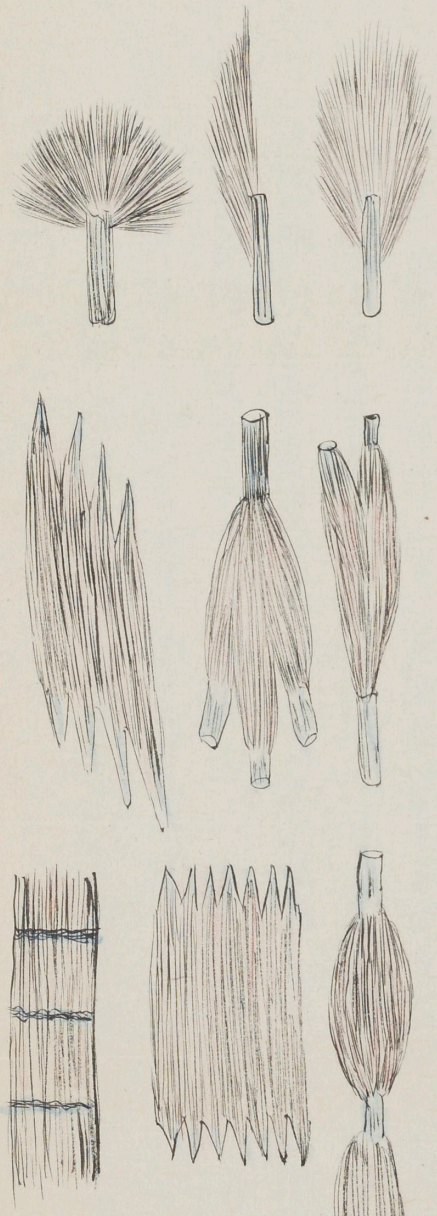
二尾筋 Musculus bicaudati

三尾筋 Musculus tricaudati トイフ又筋ニ多クノ差リヲ以テ起リ一ナル筋腹ヨリ多クノ差リヲ以テ附着スルモノアリ此ノ筋ヲ

斷裂筋 Musculus multifidus トイフ

天廣筋ノ一反ガ多ク同形ノ骨ニ附着スルモノアリ此ノ筋ヲ

銳筋 Musculus serratus トイフ又筋ニ二筋中部ニ於テ腹狀頭ニシテ其ノ筋腹ヨリ二ノ腹腱ヲ以テ發端シ二ノ腹狀頭ニシテ其ノ筋腹ヨリ二ノ腱ヲ以テ發端シ中間腱 Tendo intermedius トイフ此ノ筋ニ依テ



筋腹ノ數多クシテモ其筋腹ノ數ニ勝ル筋

二腹筋 Musculus digastricus

多腹筋 Musculus polygastricus トイフ又中等腹ガ簡單筋中ニ頭ヲ出シ雫狀ヲナセルモノアリ此ノ中隔ヲナスモノヲ

腱畫 Intersectiones tendineae トイフ其ノ腱ニ二骨ノ切リ目陷骨ニ附着スルヲ一個ト數フ又骨ニ附着スルモノヲ

環狀筋 Musculus orbicularis

輪狀筋 Musculus sphincter

Ringmuskel

Muskelring

筋ノ補佐器 *Hilfsorgane der Muskeln*

(一) 腱 *Tendines*

之ハ筋ガ他部骨等ニ附着スル媒介ヲナスモノニシテ長短アリ或ル筋ハ直チニ附着スルモアレドモ多クハ短キ腱ニ依テ附着ス

(二) 筋膜 *Fascien*.

之ノ筋膜ハ謂ユル浅深ノ二層ニ区別スルナリ浅筋膜 *Fascia superficialis* トニヤノ深筋膜 *Fascia profunda* トス之ノ筋膜ナルハ筋ノ外面及ビ筋類集ノ間ヲ被囲ムモノナリ之ハ繊維膜即チ結締織ナル而シテ其中浅筋膜ハ外皮ノ直下ニ位シ筋肉ヲ一般ニ被包スル者ハ皮下結締織(脂肪)ト著シキ境界ナク移行ス

深筋膜ハ浅筋膜ノ下ニ位シ之レハ浅筋膜ヲ補強シ所謂腱膜状ノ膜ナリ而シテ之レハ数個ノ筋ヲ被包シ或ハ一個ノ筋ヲ被包シ其他筋類集ノ中隔ナシ之ハ筋ノ起首点トナル(常ニシテシカトナラズ)其ノ他四肢ニ於テハ筋類集ヲ分テ深部ニ向テ鉄骨ニ骨ニ(骨膜)附着スルモノアリ如斯モノヲ筋間中隔 *Septum intermuscularia* ト名ク之ノ筋膜ハ解剖ノ際ニ於テ剥離スベキ得ベシ(筋ノ尾起首部ハ剥離スベカラ得ズ)

(三) 腱膜 *Aponeurose*

之ノ腱膜ハ其意ノ腱ノ分散シタルモノニシテ之ノ質ハ腱ト同一ナリ腱ハ索状ナルモ之ハ腱ノ膜状ナルモノナリ場合ニ於テハ必ズ筋ヲ有ス腱膜ハ之レト反シテ索状ヲナサズ膜状ナルモノ故ニ腱膜ハ腱ノ膜状ニ擴張セルモノナリ而シテ或ル者ハ某筋ノ附着ヲ媒介スルモノナリ(又ハ筋ノ起首トナル)

(四) 腱鞘 *Vaginae tendinum*

之ノ腱鞘ハ二種アリ一ハ繊維性腱鞘 *Vaginae tendinum fibrosae* ニシテ粘液性腱鞘 *Vaginae tendinum mucosae* ト云フ

前者ハ長キ腱ハ其経路ニ於テ滑膜又ハ骨ヲ即チ之レヲ保持スル繊維性ノ腱鞘ハ凡ソ之レ繊維性腱鞘ト云フ骨ノ溝等ニ撃張シ輪状ナリソレヲ管状トナシ其中ヲ腱ナルモノ通過セシム即チ其腱ヲ保持スルモノナリ 二ハ粘液性腱鞘ハ腱ヲ包ミテ被包スルモノナリ之レハ内外ノ二枚ヨリ成ル内板ハ直ニ腱ノ表面ニ附着シ外板ハ繊維性腱鞘ノ内面ヲ被覆シテ内外両板ハ或ル一方ニ於テ互ニ移行シ而シテ其ノ内面ニ於テハ内容ナル粘液ニ依リ腔内ニ入僅ノ滑液ヲ有シ腱ヲ滑沢ナラシム其移行部ナル *meso-Tenon* ト云フ之ノ部ハ血管

神経の通路ナリ

(ロ) 腱帯 Vincula tendinum
ソレハ腱ト腱鞘トヲ結合スルモノニシテ腱ト腱鞘ノ間ニアリテ之ニ腱ヲ殆ト
血管ノ通路トナル

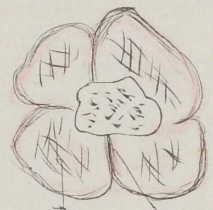
(ハ) 滑液滑車 Trochlea (Rolle)
又ハ帯滑車 (Bandförmige Rolle)
ソレハ骨ノ突出ニ於ケル溝ニシテ其溝中ヲ腱ガ通過スルヲ以テ腱ハ其溝中ニ方向ヲ変ジ又ハ
方向ヲ転ズルヲ以テ此部ニ於ケル腱ハ著シク摩擦ヲ受ケ従テ其部ヲ纖維
様ノ結合組織ニテ包ミ、突起ヲ以テ骨ニ固着シテ骨ト腱トノ間ニ滑液ヲ分泌スル
ノミ

(ニ) 骨滑車 Trochlea ossea (Knochen Rolle)
ソレモ骨ニ於ケル溝ニシテ其溝ニ於テ腱ガ方向ヲ変ズルモノニシテ其部ニ於テモ亦
前ノ如ク滑液ヲ分泌スル腱鞘ヲ以テ腱ヲ包ム

(ホ) 滑液嚢 Bursa mucosa
ソレハ滑液ヲ有スル纖維膜ノ嚢ニシテ筋ト骨トノ間ニ又ハ皮膚ト骨
又ハ腱ト腱トノ間ニ現ハレソノ内ニ滑液ヲ含ム

(ヘ) 腱 Sehnen (ossa sesamoidea)
筋ノ起ル部ニ停止部ニ又ハ関節ノ実質中ヲ血管神経ノ通路トナル纖維ヨリ成リ
アリテソレニ能ク弾力ヲ与ヘテ之ヲ通過セル腱ヲシテ
所ニヨリ骨ヲ離レ血管神経ノ通路ヲ制禦セリ

(ト) 筋節
ソレハ筋ノ一ヲ包ミ又ハ二ヲ包ミ隣セル筋ヲ区別シ
又ハ筋ヲ支持スルモノニシテ

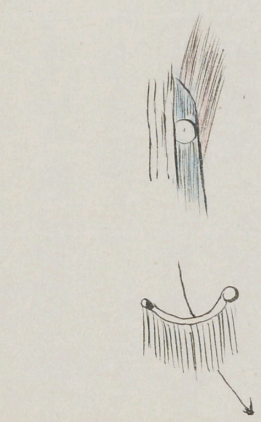


(チ) 腱弓 Sehnenbogen
ソレハ筋ノ起ル部ニ於ケル腱ニシテ其腱中ニ骨ノ突出ヲ部ヲ
又ハ腱ヲ包ム纖維ノ束ヲ含ムモノヲイフ

(リ) 筋膜 Muskelfascie
ソレハ筋ノ起ル部ニ於ケル腱ニシテ其腱中ニ骨ノ突出ヲ部ヲ又ハ骨ト接触
スル腱ヲ包ム纖維ノ束ヲイフ

(ヌ) 腱膜 Sehnenhaut (ossa sesamoidea)
ソレハ腱ノ纖維ガ膜状ニ広ガリテ筋ノ起ル部ヲ又ハ骨ト接触
スル腱ヲ包ム纖維ノ束ヲイフ

(ル) 繊維膜 Faserhaut
ソレハ骨ノ表面ヲ包ム纖維ノ膜ニシテ骨膜ト腱膜トヲ合シテ
ソレニ名ヅケタルモノナリ



筋ノ作用 Funktion der Muskeln

筋ノ動作ハ各筋繊維ノ収縮ニ依テ成ル之ニ依テ其ノ筋ノ作ク所ニ起首ト停止トハ
近接シテ而シテ筋ハ短縮ス其筋ノ作ク中全動関節ニ於テハ三軸ニ従テ運動
セシム 屈スル Beugen oder Flexoren 伸スル Strecker oder
Extensoren 内転スル Anziehen ハ Adduktoren 外転スル
Abziehen ハ Abduktoren 廻転スル Dreher ハ Zuwender 可転スル
hen ハ Rotatoren ナリ 更ニ運動ニ関係ナキモノ有リ之ハ骨部ニ付着セサル軟
部ヲ含ス諸筋(両端アリ) Schliesser ハ Sphinkteren 縮厭スル
ハ Zusammenpresser ハ Kompressoren 開張スル Erweiterer
ハ Dilatatoren 挙上スル Heber ハ Levatoren 下制スル
Herabzieher ハ Depressoren 緊張スル Spanner ハ
Tensoren 等トス

各論

I 軀幹筋 Muskeln des Stammes

A 背筋 Muskeln der Dorsalseite (Rückenmuskeln)

之ハ背筋ハ軀幹ノ後区ニ位シ正中線(棘状突起、棘上靭帯、項靭帯)ニ依テ左右
ノ両半部ニ分ツ又各区ハ腰部ハ後頭部ニ達シ下方ハ薦骨尾骨ニ達シ又外方ハ胸郭
肩胛骨及ヒ上膊骨ニ達ス背筋ナリ分テ浅深ノ二層トス

(一) 浅層 oberflächliche Schichten

浅層ハ又之ヲ分テ二ツトス

(イ) 背膊及ヒ上膊ノ筋 Extremitätenmuskeln (Spino-humerale Muskeln)

之ハ脊柱ヨリ上膊骨及ヒ肩胛帯ニ達スルモノニシテ僧帽筋、闊背筋
菱形筋(大小ノ二個アリ)及ヒ肩胛挙筋トス

(ロ) 背肋筋 Ventrale Rippenmuskeln (Spino-costale Muskeln)

之レハ背部ヨリ肋骨ニ達スルモノニシテ属スルハ合鋸筋(上下ノ二種アリ)

ゆ、外を説ける方が、効果的だと思うのですが。

ア 同感です。

イ 同感ですが、相手が納得するかどうか。

ウ 同感ですが、実際問題として、それは難しいと思います。

エ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

オ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

カ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

キ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ク 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ケ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

コ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

サ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

シ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ス 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

セ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ソ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

タ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

チ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ツ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

テ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ト 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ナ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ニ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ヌ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ネ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ノ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ハ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ヒ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

フ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ヘ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ホ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

マ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ミ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ム 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

メ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

モ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ヤ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ユ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ヨ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ラ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

リ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ル 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

レ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ロ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ワ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ヲ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ン 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ア 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

イ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ウ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

エ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

オ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

カ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

キ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ク 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ケ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

コ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

サ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

シ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ス 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

セ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ソ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

タ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

チ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ツ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

テ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ト 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ナ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ニ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ヌ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ネ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ノ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ハ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ヒ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

フ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ヘ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ホ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

マ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ミ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ム 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

メ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

モ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ヤ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ユ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ヨ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ラ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

リ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ル 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

レ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ロ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ワ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ヲ 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

ン 同感ですが、それは相手の出方次第だと思います。

(二) 浅層の筋 Tiefe Schichten
Muskeln Muscles of the deep layer

浅層の筋ハ下ノ如シ

(イ) 長イ筋 Langer Muskeln Muscles Longi
(ロ) 短イ筋 Kurzer Muskeln Muscles Breves

浅層

A 第一層 僧帽筋 Musculus Trapezius
Musculus Cucullaris

之レ四ツノ頭部ト肢部トノ間ニ位シ扁平ニシテ角ヲ呈シ(背面ヨリ)起胃ヨリ下ノ方ニ向ヒテ走リ肩峰ニ附着ス

起始ハ長短不用ノ腱ヲ以テ鎖骨肩峰ノ一部(上項線ノ外端ヨリ)起ル

停止ハ鎖骨ノ外端 肩峰突起ノ内縁ト下方ニ走ル一ノ広ク附着シ中部ノモノハ横走シ下部ノ繊維ハ斜メニ上ル

作用 支節ハ肩胛骨ヲ脊柱ニ向ヒテ引キ且ツ回転スルコトヲ得ル上部ノ繊維ハ肩胛骨ヲ上ニ引キ下部ノ繊維ハ肩胛骨ヲ下ニ引ク上部ノ繊維ハ協同シテ肩胛骨ヲ脊柱ニ向ヒテ引キ且ツ回転スルコトヲ得ル(下肢ヲ固定シ)又肩胛骨ヲ支点トシテ頭部ヲ内方ニ引ク

B 第二層

(一) 前肩胛筋 M. latissimus dorsi (Breiter Rückenmuskel)

之ノ筋ハ胸部・下部ヨリ上膊ニ注ク扁平ノ筋ニシテ其ノ形状ハ略ボ三角形ヲ呈ス

起始ハ胸部ノ下四乃至五下胸椎ノ棘突起ヨリ(之レニ伴ヒテ腰椎ノ多ク)腰背筋膜ヲ以テ起リ(腰椎ノ)下部ヨリ上ニ向ヒ且ツ外方ニ走リ腸骨稜ノ後部ニ及ビ(下胸骨ニ起リ且ツ後方ニ走ル繊維ハ)腋下ノ前方ニ走リ肩胛骨ノ下角ニ終ル

停止ハ腱ヲ以テ上膊骨ノ小結節稜ニ附着ス

骨ニ下降シ腓下ニ達スル事半ノ腱ニテ大内転筋ニ附ス

二頭棘ニ附ス

作用 二関節ニ走ル故ニ下垂スル時ニ於テハ下方ニ引キ臀部ニ接触スルニ至ル支トナシ更ニ前ノ一面ガ内旋シ且ツ後ニ引キ来ルニ下肢ヲ立テ動ヲ始ムルトキハ又一方ニ偏スルガ如クニシテ

(四) 薄筋 M. rhomboidei (Banton muskel)

ここハ此ノ上部ニ位スル薄筋ノ分肋下ニ接スルヲ以テ大内転筋ニ附ス

ここハ M. semi & superior トシテ

起点 恥骨筋ノ上部ニ位シ頂点四等下部ニテ始マリ前ニ走ル薄筋ノ分肋ニ接シ四ニ五上肋骨ノ軟骨ヲ被ヒ外下ニ走ル

停点 脛骨ノ内面ニ附着スル下部ニテ

作用 腹壁ヲ引キ上ル

(五) 腹筋 M. Cucullaris & Capuchal

起点 第一ノ肋ノ腹ニ附着シ頸椎ノ上横突起ヲ被ヒ外下ニ向ヒ肩胛骨ノ上縁ニ附着ス

作用 肩胛骨ヲ内上ニ引ク

(六) 肩隅棘筋 M. Cucullaris Capuchal

起点 第一ノ肋ノ腹ニ附着シ頸椎ノ上横突起ヲ被ヒ外下ニ向ヒ肩胛骨ノ上縁ニ附着ス

作用 肩胛骨ヲ内上ニ引ク

(七) 菱形筋

第二ノ肋骨ニ附着シ上下部ニ別ル

上部ハ肩胛骨ノ上縁ニ附着シ下部ハ肩胛骨ノ下隅ニ於テ腱ニ移リ

次ノ肋骨ニ附着スル下部ノ腱ニ接ス

作用 肩胛骨ヲ内上ニ引ク

(八) 肩胛挙筋 M. Levator scapulae

起点 第一ノ肋骨ニ附着シ頸椎ノ上横突起ヲ被ヒ外下ニ向ヒ肩胛骨ノ上縁ニ附着ス

作用 肩胛骨ヲ内上ニ引ク

(九) 茅ノ筋

第二第三第四ノ肋骨ニ附着シ上ニ向ヒ肩胛骨ノ下隅ニ於テ腱ニ移リ

次ノ肋骨ニ附着スル下部ノ腱ニ接ス

作用 肩胛骨ヲ内上ニ引ク

(十) 前下鋸筋 M. depressor posterior inferior

ここハ胸廓下部ニ位シ下腕神経ノ七腰神経ノ腹筋ヨリ起リ上外方ニ向ヒ

走ル四本ノ多シ下部肋骨ノ周縁ニ附着ス即九十七四肋骨ニ附着ス

而シテ前鋸筋下部ニ位ス

作用 肩ヲ上ニ鋸筋ヲ以テ上ニ引キ上ル

呼気ヲ助ケ(肺ヲ縮メ)

(十一) 後下鋸筋 M. depressor posterior inferior

ここハ胸廓下部ニ位シ下腕神経ノ七腰神経ノ腹筋ヨリ起リ上外方ニ向ヒ

走ル四本ノ多シ下部肋骨ノ周縁ニ附着ス即九十七四肋骨ニ附着ス

而シテ前鋸筋下部ニ位ス

作用 肩ヲ上ニ鋸筋ヲ以テ上ニ引キ上ル

呼気ヲ助ケ(肺ヲ縮メ)

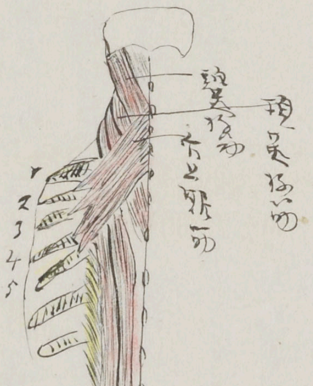
浅層ト深層
トノ區別ハ唯
ダ上下ノ位置ヲ
以テ之ヲ區別シ

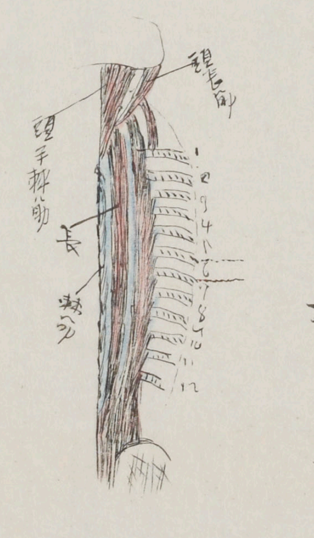
深層

長筋 Lange Muskeln

(一) 夾板筋 M. splenius (Riemenmuskel)
(副木ノ筋)

之ハ筋ハ部位ニ随テ二部トシ一ヲ頭夾板ハ筋ト云ヒ一ヲ頸夾板ハ筋ト云フ





A 頭夾板ハ筋 M. splenius Capitis

之ハ筋ハ

起首 項靭帯ノ下部ヨリ第七頸椎及ヒ第三胸(ニ至胸椎ノ上マデ)椎ノ(棘状突起)起リ上外前方ニ向テ走リ漸次鼻ニシテ粗ニ成テ両者相擁シ竟ニ鎖ナ腱トナリ

而頭骨上後隅外部及乳嘴突起ニ附着ス

B 頸夾板筋 M. splenius Cervicis

(頸夾板筋) M. splenius Colli.

之ハ筋ハ

起首 腱ヲ以テ第三乃至第六胸椎ノ棘状突起ヨリ起リ上外方ニ向テ走リ第一第二及第三頸椎ノ横突起ノ後角ニ着ス 之ハ筋ハ上部ハ胸鎖乳頭筋ニ被ハレ下部ハ僧帽筋菱形筋等ニ被ハル 中央部ハ皮下ニ位ス

作用 頭夾板筋両側同時ニ収縮スルトキハ頭ヲ後方(ニ鉛直ニ)ニ引ク 偏側ノミ収縮スルトキハ頭ヲ同側ニ引ク 頸夾板筋両側同時ニ収縮スルトキハ頸(ヲ追原ニ)ヲ後方ニ引キ 偏側ノミ収縮スルトキハ頸ヲ同側ニ引ク

(二) 薦骨脊柱ノ筋 M. sacrospinalis

起首 薦骨下腰椎ノ棘状突起腸骨稜後部ハ腰筋膜ヨリ起ル 腰背ノ筋膜ノ内面ヨリ起リ上方ニ向テ走リテ(最末ノ肋骨ノ)部ニ至リテ内外ノ二腹ニ分カル 内方ノモノヲ背長筋 M. longissimus dorsi 外方ノモノヲ腸肋筋ト云フ

A 腸肋筋 M. ilio-costal

之ハ筋ハ身体ノ部位ニ随テ之ヲ三部ニ区別シ ナヲ腰腸肋筋 〃 lumborum
ナヲ胸腸肋筋 〃 thoracis ナヲ頸腸肋筋 〃 Cervicis ト云フ

(ハ) 膨隔肋筋 *M. sub-costal Cumbrum*
(膨隔肋筋) (旧上ノ二ツノモノヲ七番肋ヨリ八番肋ニ下ル)
肋骨隔ニ始ル

(ロ) 胸膨肋筋 *M. sub-costal Thoracis*
(肺膨肋筋)
(肺膨肋筋) *M. sub-costal dorsi*

ニノ肋ノ膨肋内ヲ通カヘル前ノモノハ八個肋ヲヘテ下肋骨上縁ヨリ五分ノ一ノ肋骨ノ隔ニ始ル

(ハ) 頂膨肋筋 *M. sub-costal Cervicis*

ニノ肋ノ膨肋ノ最上ノモノヨリ起リ(尚ホ数ノ肋ヨリ起ルモノアリ)斜ニ外下ニ走リ第二頸椎ノ横突起ニ終ル

(ニ) 胸長肋筋 *M. Longissimus dorsi*

之ハ長筋ヲ身体ノ部位ニ隔テ之ヲ分ツ

(ロ) 頂長肋筋 *M. Longissimus Thoracis* = *M. Sacro-lumbalis* (Sacro-spinalis)

(ハ) 頸長肋筋 *M. Longissimus Cervicis* = *M. Transversalis colli* (頸横筋)

(イ) 腸肋筋 *M. Longissimus Lumborum Thoracis*

之ハ長肋筋ノ内五、六ノ肋ニ始ル二叢腱ニテ起リ(腸骨稜ヨリ起ルモノト腸骨稜ヨリ起ルモノトアリ)斜ニ上ニ走リ第七肋骨ヨリ下ノ肋骨ニ終ル

(ロ) 項長肋筋 *M. Longissimus Cervicis*

之ハ腹背ノ別ナク胸椎ノ横突起ヨリ起リ頂骨ニ終ル

(ハ) 頸長肋筋 *M. Longissimus Cervicis*

之ハ長筋ノ中部ニテ四乃至五上胸椎ノ横突起ヨリ起リ頂骨ニ終ル

起ニ附着ス

(ロ) 頸長肋筋 *M. Longissimus Capitis*

(頂乳突筋) *M. Trachelo-mastoideus*

之ハ長肋筋ノ最上ニテ二上胸椎ノ横突起ヨリ起リ頂長肋ノ内方ニ沿ヒ上方ニ走リ(上斜)肩甲腹下頭椎ノ関節突起ニ終ル

(ニ) 棘肋筋 *M. Spinalis*

棘肋ハ長肋ノ内方ニ位スル肋ニシテ棘状突起ヨリ棘状突起ニ隔テラレタル二ツノ椎骨ニ跨ル

(イ) 背棘肋筋 *M. Spinalis dorsi*

(胸棘肋)

棘筋作用
脊柱ヲ伸ス及屈ス

之ハ二三ヨリ六ニ至ル腰椎棘状突起及下胸椎ノ(二―三)棘状突起ヨリ起リ上行シテ之ニ隨テ数
多ノ腱質ヲ有スル第九乃至第八胸椎ノ棘状突起ニ附着ス

(二)項棘筋 m. Spinalis Cervicis

之ハ最長ノモノニシテ腱質ナリ 第二上胸椎第二乃至第下頸椎ノ棘状突起ヨリ起リ上行シテ之ニ隨ヒ
第五頸椎ノ棘状突起ニ附着ス而シテ之ハ[illegible]ニ及ビ二ハ下屈曲シテ

(三)頭棘筋 m. Spinalis Capitis

之ハ甚ダ弱クシテ多クハ半棘筋ト混ズルモノナリ [illegible]
若シ之レヲ存スル時ハ棘状突起ヨリ起リ頭半棘筋ニ附シ之ハ筋ハ動
物ニ於テ著シ

作用 全部脊柱筋ハ両側同時ニ働ク時ハ脊柱ヲ後屈シ(伸展)又一側ニ脊柱ヲ屈曲ス

ニ伸展及脊柱ヲ[illegible]ニ伸展シ[illegible]及ニ屈曲ス又脊柱ノ捻転ヲ[illegible]
[illegible]ハ其ノ胸部ヲ下ニ引キ呼気ヲ助ク然シ[illegible]項腸肋筋
ハ肋骨ノ上部ヲ挙ゲ之ハ呼吸ノ二ヲ助ク[illegible]呼気ヲ助クル
ナリ頸長筋ハ両側同時ニ働ク[illegible]
頸ヲ前方ニ屈曲セシム

以上論ズル所ノ筋ハ[illegible]層筋ノ[illegible]層ナリ之ヨリ[illegible]位ノ筋

ヲ述ベン

之ハ横棘筋ハ[illegible]横突起ヨリ起リ棘状突起ニ附着スル筋ノ總稱ナリ

横棘筋 m. Transverso-spinalis

(A) 半棘筋 m. Semispinalis

之ハ横棘筋中最浅層ニ位スル筋ニシテ之ハ半棘筋ノ身体ノ部位ニ從テ之ヲ三ニ區別ス
(一)背半棘筋(胸半棘筋) (二)項半棘筋 (三)頭半棘筋トス

(イ)背半棘筋 m. Semispinalis dorsi

之ハ腱質ニシテ下胸椎ノ横突起(五乃至十二)ヨリ起リ上行シテ筋腹ヲナシ之ノ筋腹ハ
五六本ノ腱トナリ四上胸椎及ニ下頸椎ノ棘状突起ニ附着ス

(ロ)項半棘筋 m. Semispinalis Cervicis

之ハ五乃至六上胸椎ノ横突起ヨリ起リ第二乃至第五頸椎棘状突起ニ附着ス(七[illegible])
而シテ其ノ筋ハ[illegible]ノ筋ヨリ稍々[illegible]

(ハ)頭半棘筋 m. Semispinalis Capitis

之ハ七上胸椎及七頸椎ノ横突起ヨリ起リ後頭骨ノ上項線下項線ノ間ニ附着ス
而シテ内側ノ二腹頂ハ筋ノ周部ヲ二頭ニ分ツ m. Biventer

トナリテ之ニ外腹斜筋ト称スルコトアリ　腱ニ至テ上部ハ胸椎ヨリ起リ（下部ハ上ハ始）腰椎
腰ヨリ髂骨ニ附シ上下ノ二腹ニ分レ上ハ下部ニ附ク関節突起ニ附着シ其外頸ヲ

錯綜筋 M. Complexus　下部ハ之ニ起リ胸椎ノ横突起ヨリ起リ頸椎ノ横突起及頸椎ノ関節突起、後頭骨ニ附ク此筋ハ扁平ノ筋
腸ト云ヒ上下ノ項線ノ間ニ附着ス之ニハ下部ニ腱ヲ連ナル

B 断裂筋 M. Multifidus

之ハ半棘状筋ノ下層ニ位スルモノニシテ頸椎ヨリ尾骨ノ部ニ迄達スルモノニシテ下部ニ至ル程発育ス（第二図ノ好キ例ナリ）

起始 尾骨ノ後面、仙骨ノ後面、腰椎ノ乳様突起、胸椎ノ横突起、頸椎ノ関節突起ヨリ下頸椎ノ関節突起ヨリ起リ上内方ニ向ヒテ走リ一椎或ハ二椎ヲ越ヘテ漸次上位椎アル棘状突起ニ附着ス

C 旋背筋 Mm. rotatores

之ハ断裂筋ノ下層ニ位スルモノニシテ胸部ニ於テノミ現ハルモノナリ

起始 胸椎横突起ノ上縁ヨリ起リ一椎又ハ二椎ヲ越ヘテ内上方ニ走リ其上位ノ棘状突起ニ附着ス又此ノ筋ハ其長短ニ二様アリ

(一) 長旋背筋 M. rotatoris longi

之ハ横突起ノ上縁ヨリ起リ一椎ヲ越ヘテ二椎上ノ棘状突起ニ附着スルモノ

5

(二) 短旋背筋 M. rotatoris breves

之ハ横突起ノ上縁ヨリ起リ直ニ次椎ノ棘状突起ニ附着スルモノニシテ最モ短キモノニ属ス

作用 背筋ノ作用ハ之ヲ二ツニ分ツ即チ扁平ナル筋ハ肩甲骨ヲ動カシ背柱ノ伸展ヲ助ケ又之ヲ回転スルヲ助ク
両側同時ニ働ケバ脊柱ヲ伸展シ狭長ナル筋ハ脊柱ノ後方ニ附着シテ
引キ頭ヲ後方ニ向ケシメ断裂筋ハ其ノ作用ニ依リ脊柱ヲ回転ス
旋背筋ハ断裂筋ト同ジ

短キ筋

短筋ハ後頭骨ト頸椎トノ間ニ位スルモノト回旋椎ト頭蓋ノ間ニ位スルモノトノ二種アリ

先ヅ後頭骨ト頸椎トノ間ニ位スルモノ

(一) 棘間筋 Mm. interspinales

先ヅ棘状突起ノ間ヲ連絡スル所ノ筋ニシテ頸部ニアリテハ二重ニ現ハレ胸部ニアリテハ欠除ス（但シ第一胸椎ト第二胸椎ノ間ニハ存ス）

(二) 横突起間筋 Mm. intertransversarii

之ハ各横突起ノ間ニ現ハルモノニシテ腰部ニ於テハ二重ナリ即チ内側ノモノハ乳様突起

筋肉學

第二背骨ヨリ
上ニ三椎骨迄ノ
...

ヒテ副突起ト結合シ之レト内側横突起ヲ以テ分レ外方ハ横突起ニ堅着シ之レト
外横突間筋ト分レ頭部ニ於テ乳様突起ニ付着ス其ノ一ハ横突起ノ前ニ後付着
緊張シ之レト内横突起ト分レ下ニ下リ其ノ一ハ横突起ノ前ニ付着シテ緊張
シ之レト前横突起ト分レ下ニ下ル
作用 頭ヲ回シ脊柱ヲ伸展ス横突起ヨリ分レ屈曲ス（骨椎）両側同時ニ働ク時ハ
之ヲ棘突起ニ近ツケ下ツテ横突起ニ近フ

四 後頭下筋群ニ属ス之ヲ Musculi occipito vertebrales

（一）大後頭直筋 m. rectus capitis posticus major
之レ第二頸椎ノ棘突起ヨリ起リ上外方ニ走リ後頭骨
下項線ノ中部ニ付着ス

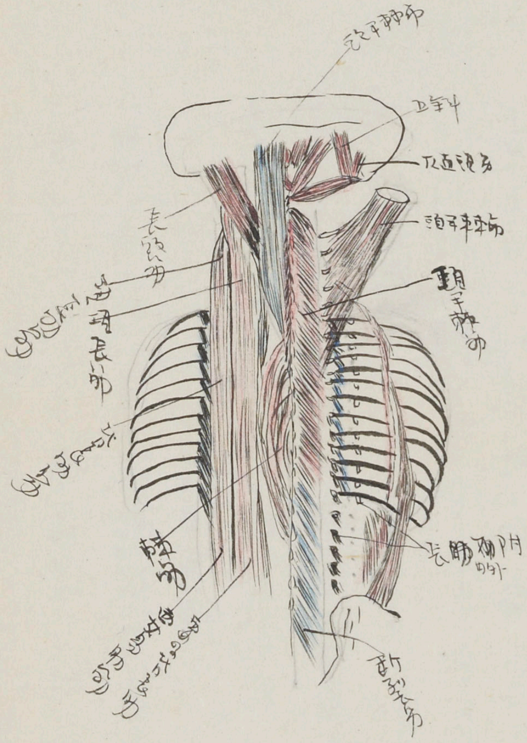
（二）小後頭直筋 m. rectus capitis posticus minor
之レ第一頸椎ノ後結節ヨリ起リ上方ニ走リ後頭骨下項線ノ
内部ニ附着ス之レ角ノ...

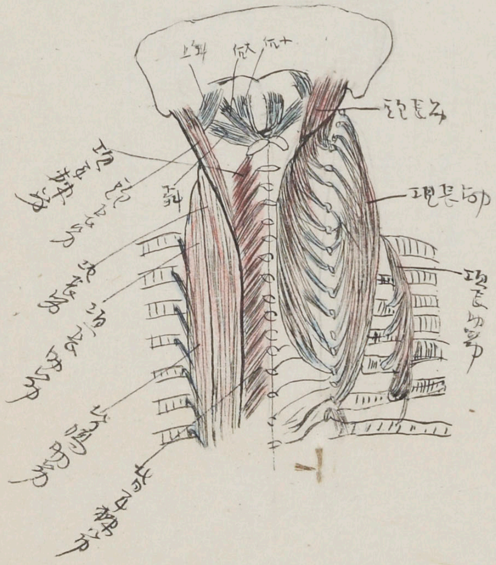
（三）外側頭直筋 m. rectus capitis lateralis
載域ノ横突起ヨリ上方ニ直行シ頸静脈突起ニ附着ス

（四）下斜頭筋 m. obliquus capitis inf
ヨリ起リ第二頸椎ノ棘突起ヨリ外上方ニ向ヒ斜ニ走リ載域ノ横突起ニ附着ス

（五）上斜頭筋 m. obliquus capitis supe
之レハ載域ノ横突起ヨリ起リ斜ニ内上方ニ走リ後頭骨ノ下項線ノ外部ニ附着ス
後頭筋ノ附着部ヲ被フ

作用 大後頭直筋及ビ下斜頭筋ハ頭ヲ同側ニ廻旋シ小後頭直筋及ビ外側直筋ハ頭ヲ
後方ニ...





背筋膜 Fascia dorsi Rückenmuskelfascie

ノ詳ニ肋膜

肋膜ハ薄キ膜ニシテ便宜ノ為メ表面ノ被ヲ

(1) 体背肋膜

ニハ強キ肋膜ニシテ腰肋肋膜 fascia lumbo-costalis トシテ之ノ腰背

肋膜ヨリモ前ニ在リ且ツ厚キニヨリ之ヲ

腰肋又ハ Thoracolumbalfascie

腰肋膜

腰肋膜 Membrana lumbo-costalis

トシテ之レ一方ニ腰ノ肋ノ所部ニ属シ

ソレカラ腰椎棘突起ニ至ル肋ハ縫ヒ込ム

背筋ヲ覆ヒ又ハ之ヲ部ト肋ヲ

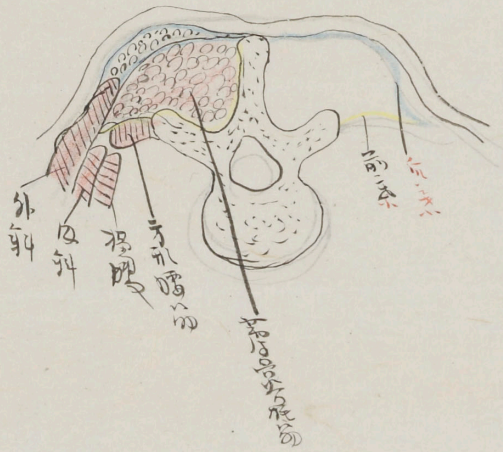
ガ肋ノ内及ビ背面ニ於ケル下肋肋ノ下部ヲ

内ヲ一層ヲ被ヒ内方ニ脊柱肋ヲ限シ内方ニ於テ脊柱肋ニ密

着シ又一部ハ腸骨稜ニ至ル腰肋ハ下肋ニ著シ又背ノ皮下ニ於テ

筋ヲ代腸骨稜ニ附ク下肋ニ著シ又背ノ皮下ニ於テ

筋ヲ被ヒ下肋ニ著シ又背ノ皮下ニ於テ



(背ヲ伸ス筋)

(1) 脊柱起立筋 Musculus sacrospinalis

脊柱ヲ伸ス筋ニシテ下ハ仙骨ヨリ上ハ頭骨ニ至ル腰椎(背ヲ伸ス筋)ヲ

人体ニ於テ最モ強大ナル筋ニシテ肩胛骨ヲ動カシ脊柱ヲ伸展スル

一　腹壁の筋

腹壁の筋は、腹腔の前外側壁を構成する筋群で、腹直筋・錐体筋・外腹斜筋・内腹斜筋・腹横筋・腰方形筋・大腰筋・小腰筋・横隔膜などがある。

1　腹直筋　m. rectus abdominis

腹直筋は、恥骨前面から起こり、上方に向かって走り、第5～7肋軟骨前面および剣状突起に停止する。

2　錐体筋　m. pyramidalis

錐体筋は、腹直筋の前面を覆う小さな筋で、恥骨前面から起こり、白線に停止する。

3　外腹斜筋　m. obliquus abdominis externus

外腹斜筋は、腹壁の最も浅層にある筋で、第5～12肋骨の外面から起こり、下内方に向かって走る。

4　内腹斜筋　m. obliquus abdominis internus

内腹斜筋は、外腹斜筋の深層にある筋で、腸骨稜・胸腰筋膜および鼠径靭帯の外側半から起こり、上内方に向かって走る。

5　腹横筋　m. transversus abdominis

腹横筋は、腹壁の最も深層にある筋で、第7～12肋軟骨の内面・胸腰筋膜・腸骨稜および鼠径靭帯の外側1/3から起こり、横走する。

6　腰方形筋　m. quadratus lumborum

腰方形筋は、後腹壁にある筋で、第12肋骨および腰椎横突起から起こり、第12肋骨および腸骨稜に停止する。

7　大腰筋　m. psoas major

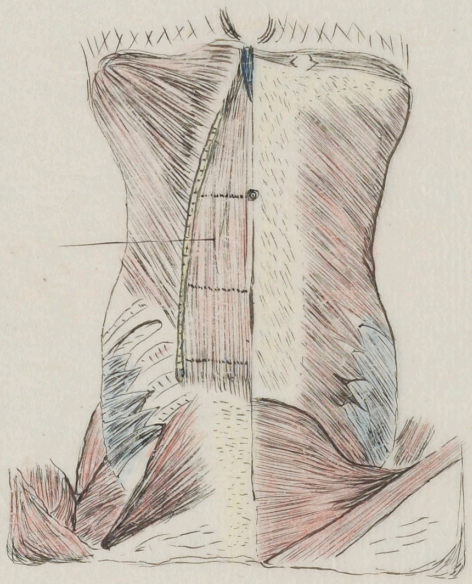
大腰筋は、腰椎体および腰椎横突起から起こり、大腿骨小転子に停止する。

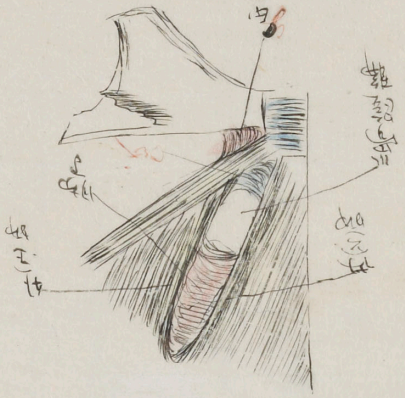
8　小腰筋　m. psoas minor

小腰筋は、大腰筋の前面にある小さな筋で、第12胸椎および第1腰椎から起こり、腸恥隆起に停止する。

9　横隔膜　diaphragma

横隔膜は、胸腔と腹腔とを隔てるドーム状の筋膜で、胸骨部・肋骨部・腰部からなる。





腹壁の筋は、腹腔の前外側壁を構成する筋群で、腹直筋・錐体筋・外腹斜筋・内腹斜筋・腹横筋・腰方形筋・大腰筋・小腰筋・横隔膜などがある。

1　腹直筋　m. rectus abdominis

腹直筋は、恥骨前面から起こり、上方に向かって走り、第5～7肋軟骨前面および剣状突起に停止する。

2　錐体筋　m. pyramidalis

錐体筋は、腹直筋の前面を覆う小さな筋で、恥骨前面から起こり、白線に停止する。

3　外腹斜筋　m. obliquus abdominis externus

外腹斜筋は、腹壁の最も浅層にある筋で、第5～12肋骨の外面から起こり、下内方に向かって走る。

4　内腹斜筋　m. obliquus abdominis internus

内腹斜筋は、外腹斜筋の深層にある筋で、腸骨稜・胸腰筋膜および鼠径靭帯の外側半から起こり、上内方に向かって走る。

5　腹横筋　m. transversus abdominis

腹横筋は、腹壁の最も深層にある筋で、第7～12肋軟骨の内面・胸腰筋膜・腸骨稜および鼠径靭帯の外側1/3から起こり、横走する。

6　腰方形筋　m. quadratus lumborum

腰方形筋は、後腹壁にある筋で、第12肋骨および腰椎横突起から起こり、第12肋骨および腸骨稜に停止する。

7　大腰筋　m. psoas major

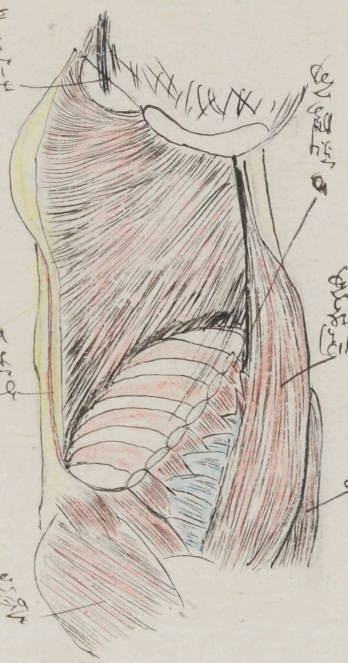
大腰筋は、腰椎体および腰椎横突起から起こり、大腿骨小転子に停止する。

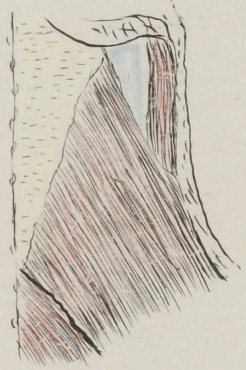
8　小腰筋　m. psoas minor

小腰筋は、大腰筋の前面にある小さな筋で、第12胸椎および第1腰椎から起こり、腸恥隆起に停止する。

9　横隔膜　diaphragma

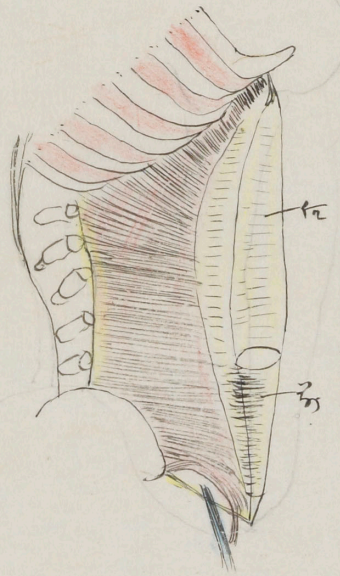
横隔膜は、胸腔と腹腔とを隔てるドーム状の筋膜で、胸骨部・肋骨部・腰部からなる。

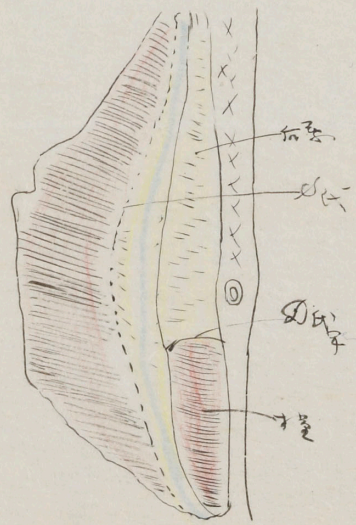




(二) 内斜腹筋 M. obliquus abdominis internus

上行斜腹筋 M. obliquus ascendens





此筋ハ外斜腹筋ノ下ニ在リテ之ニ略ゝ直角ニ交叉シ起点ハ腸骨稜ノ前ニ半分ト腸骨筋膜ノ一部トニ起リ後上方ニ向ヒテ走リ第九第十第十一肋骨ノ下縁ニ終ル

外下部ニ腸骨稜ノ前ニ半分ト腸骨筋膜ノ一部トニ起リ後上方ニ向ヒテ走リ第九第十第十一肋骨ノ下縁ニ終ル

此筋ハ外斜腹筋ノ下ニ在リテ之ニ略ゝ直角ニ交叉シ起点ハ腸骨稜ノ前ニ半分ト腸骨筋膜ノ一部トニ起リ後上方ニ向ヒテ走リ第九第十第十一肋骨ノ下縁ニ終ル

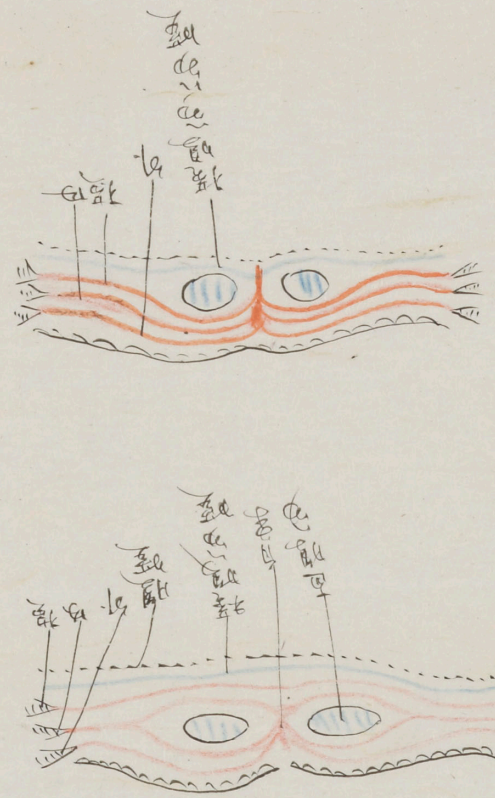
此筋ハ外斜腹筋ノ下ニ在リテ之ニ略ゝ直角ニ交叉シ起点ハ腸骨稜ノ前ニ半分ト腸骨筋膜ノ一部トニ起リ後上方ニ向ヒテ走リ第九第十第十一肋骨ノ下縁ニ終ル

提睾筋 M. Cremaster 又ハ睾丸挙筋

提睾筋 Tunica vaginalis testis

提睾筋 Musculus cremaster

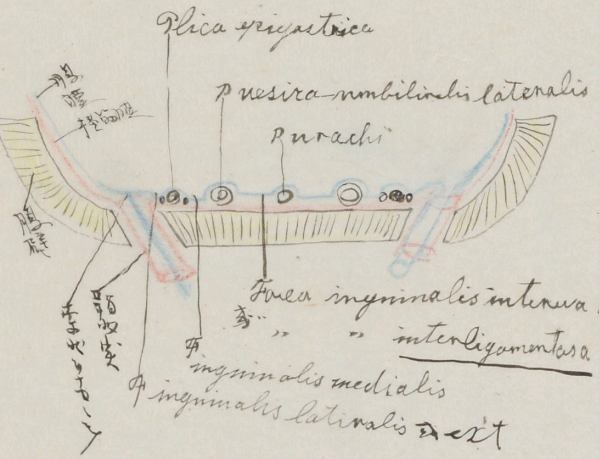
起点ハ下腹部ノ内斜腹筋ノ内面ト腸骨稜ノ前半分トニ起リ後内方ニ向ヒテ走リ睾丸ノ鞘膜ニ終ル

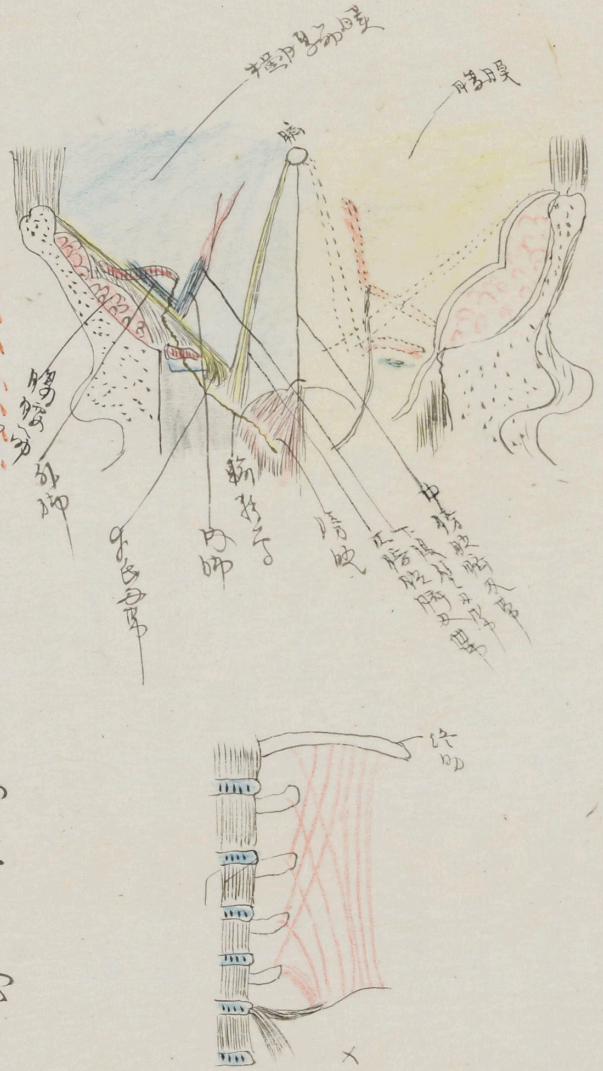


Linea alba

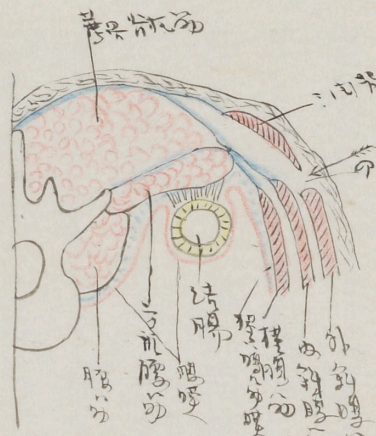
Fascia recta abdominis

腹壁ノ筋


Plica vesicalis
Plica umbilicalis lateralis
Fossa inguinalis interna
Annulus inguinalis medialis
Annulus inguinalis lateralis
Plica semilunaris


腸骨筋
外陰
内陰
鼠蹊靭帯
腸骨筋膜
大腿筋膜張筋
縫工筋
大腿直筋
中間広筋
内側広筋
外側広筋
膝蓋骨
膝蓋靭帯
脛骨粗面

外陰
内陰



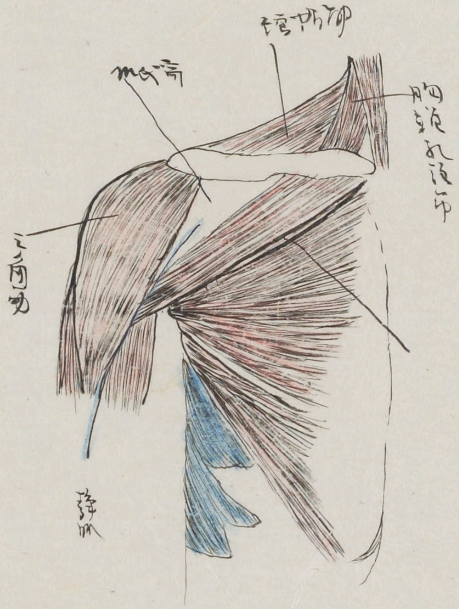
腰神経叢 (Plexus lumbalis)

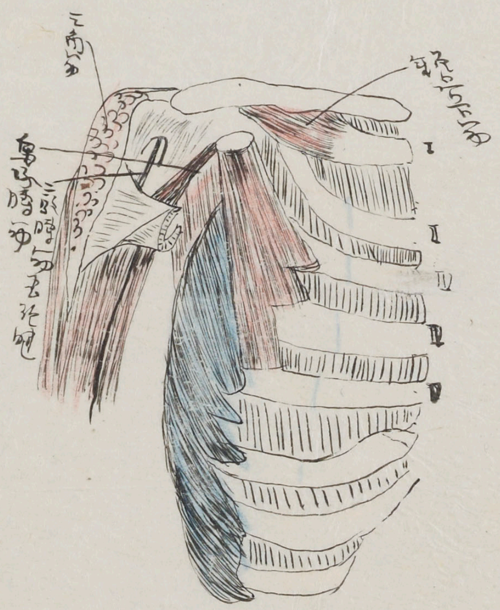
起首ヲツケ之部ト云

(一)鎖骨部 之ハ起始中ヨリ分レテ鎖骨内三分一ノ處ヨリ起ル

(二)胸肋部 之ハ之部ヨリシテ胸骨前面中線ニ近キ處ヨリ肋軟骨(或ハ至ト

まとこく)ヨリ起ル





(三)腹部 之ハ起始中ノ下部ヨリシテ直腹筋鞘ヨリ起ル 而シテ如斯起始ヨリ起

ル各線ハ漸ク外下ニ向ヒ相集合シ腋窩ヲ過ギ腋下ノ前壁ヲ成シ終ニ鎖骨

部ハ胸肋部ヲ前方ニ於テ後ニ腱トナリ腱ハ扁平ノ大結

節ヲナス附着スル所ハ二頭筋溝ノ外縁ニシテ其上方ニ向フ腱ハ

下方ヨリ来ル腱ハ上方ニ位シ上方ヨリ来ル腱ハ下外方ニ位ス

又之胸筋ハ鎖骨部ト胸肋部トノ間ニ於テ一部裂ケ(即チ空隙)ヲ見ルコトアリ 胸筋

間溝トシテ其後之胸筋ノ上縁(三角筋)ト之三角筋トノ間ニ於ケル之ノ三角形ノ空隙

ヲ見ル之ヲ胸ハ胸ニ角ハ角(モーレンハイム氏窩)或ハ鎖骨下窩 其他

モーレンハイム氏窩トシテ見ルノ角ノ之場ハ外下方ニ向ヒ其尖ハ鎖骨ニ向フ之

窩ニ於テ頭静脈ハ鎖骨下静脈ニ入ル 全ク穴所ナリ

作用 之筋ハ上膊ヲ体幹ニ向テ引キ之ヲ内方ニ廻旋ス鎖骨部ハ

肩胛骨ノ上昇ヲ補助ス 胸肋部ハ已ニ上昇セル上膊ヲ下制シ其他肢

ノ支持セラレタル時ハ肋骨ヲ挙上シ吸気ヲ助ク

第二層

(一)小胸筋 M. pectoralis minor

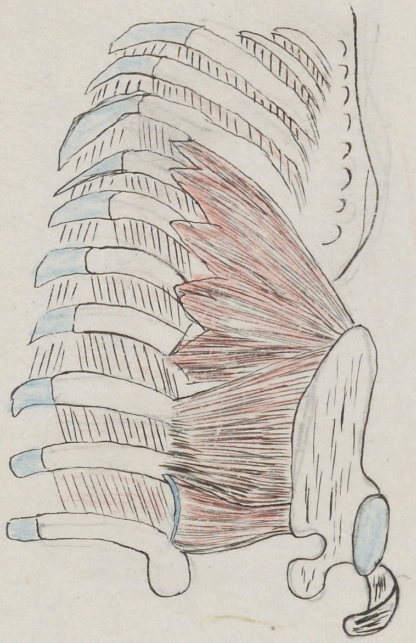
(二)前下鋸筋 M. serratus anticus minor

之レハ大胸筋ノ直下ニ位スル筋ニシテ其形ハ三角形ヲナシ扁平ナリ

起始 之ハ第三乃至第五肋骨ノ前端ノ上縁ヨリ起リ上外方ニ向ヒ其尖ニ集リ

之ヲ腱ト為シ烏喙突起ノ内側ニ附着ス

作用 肩胛骨ヲ前下方ニ下制シ又肩胛骨ノ固定セル時ハ肋骨ヲ挙上ス



M. serratus anticus

톱니근

M. pectoralis major

큰가슴근

(1) 위치와 모양

(2) 기능

M. serratus anticus

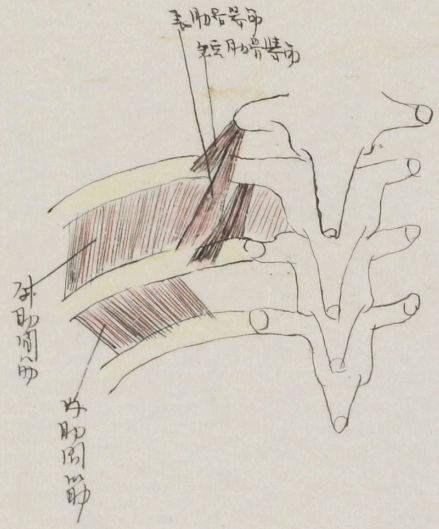
톱니근

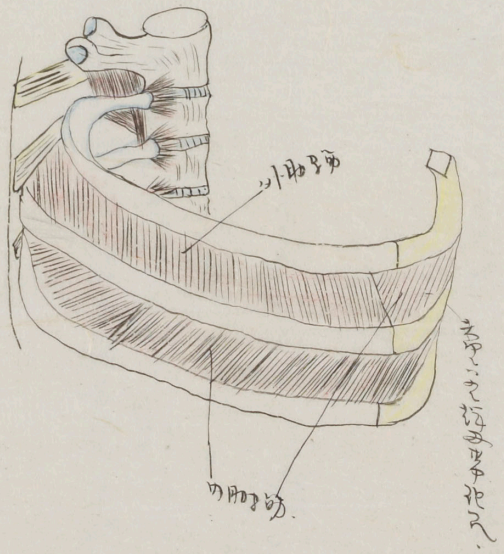
M. pectoralis major

큰가슴근

(1) 위치와 모양

(2) 기능





肋間筋 Mm. intercostales

肋骨と肋骨との間にある筋肉を肋間筋と云ふ。

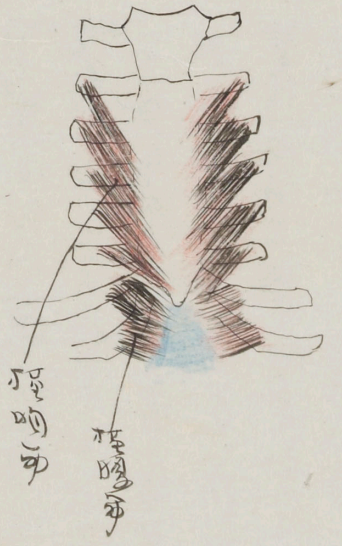
(一) 肋軟骨間筋 Mm. intercartilaginei

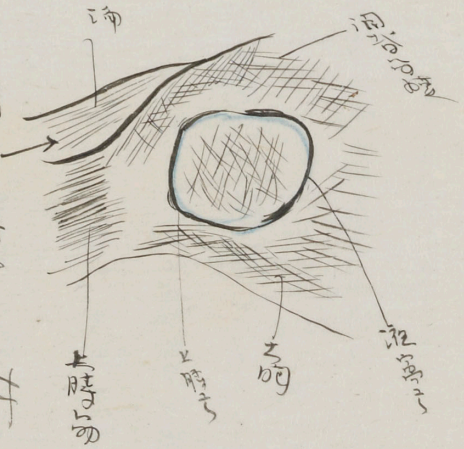
肋軟骨と肋軟骨との間にある筋肉を肋軟骨間筋と云ふ。

(二) 肋間筋 Mm. intercostales

この肋間筋は骨と骨との間にあるから骨間筋とも云ふ。この肋間筋は外と二種とある。

外肋間筋 Mm. intercostales externi.





この肋間筋は外と二種とある。

(一) 外肋間筋 Mm. intercostales externi.

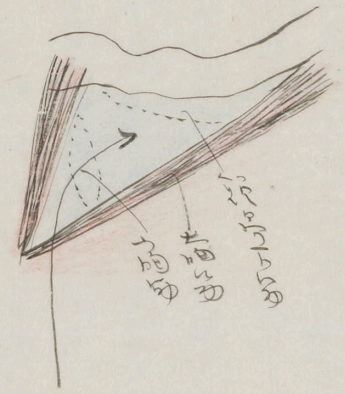
この肋間筋は肋骨と肋骨との間にあつて第一肋骨から第十一肋骨まである。この肋間筋の方向は外斜下方に向つて走つてゐる。この肋間筋は上位の肋骨の下縁から起つて下位の肋骨の上縁に停まつてゐる。この肋間筋は肋軟骨の前端まで達してゐる。

(二) 内肋間筋 Mm. intercostales interni.

この肋間筋は外肋間筋の内側にあつて第一肋骨から第十一肋骨まである。この肋間筋の方向は外斜上方に向つて走つてゐる。この肋間筋は下位の肋骨の上縁から起つて上位の肋骨の下縁に停まつてゐる。この肋間筋は肋軟骨の前端まで達してゐる。

作用 肋骨挙ぐ、

内胸筋膜 Fascia endothoracica



胸壁ノ内面ヲ被フ筋膜ヲ内胸筋膜ト称ス之ハ肋骨ノ内面ヲ被フ之ノ筋膜ハ下方ニ於テ膈筋ノ上面ニ移行シ前面ニ於テハ胸骨ノ後面ヲ被ヒ後面ニ於テハ脊柱ノ前縦靭帯ニ移行ス

横隔膜 Diaphragma (Zwerchfell)

横隔膜ハ胸腔ト腹腔トノ境界ヲ為ス膜、筋ニシテ穹窿ヲ為シ其凸面ヲ上ニ向ケ胸腔ニ突出シ其凹面ヲ下ニ向ケ腹腔ニ突出ス故ニ横隔膜ハ胸腔ト腹腔トヲ分ツ隔壁ナリ

横隔膜ハ其周囲ニ於テ諸処ニ起リ中心腱ニ向テ集合ス故ニ横隔膜ハ之ヲ其起始部ニ依リ次ノ如ク三部ニ区別ス即チ

(一) 脊柱部 Pars vertebralis 或ハ腰部
(二) 肋骨部 Pars costalis
(三) 胸骨部 Pars sternalis

脊柱部 Pars Vertebralis 或ハ腰部

脊柱部ハ更ニ之ヲ内側脚 Crus mediale 外側脚 Crus laterale ト二ツニ区別ス

内側脚ハ腱条ヲ以テ脊柱ノ前縦靭帯ニ起リ上方ニ向テ走リ横隔膜ノ中央腱ニ終ル右内側脚ハ左内側脚ニ比シ稍々大ナリ両内側脚ノ間ニハ大動脈裂孔 Hiatus aorticus ト称スル大ナル裂孔アリ大動脈ハ此裂孔ヲ通リテ腹部ニ入ル裂孔中ニハ大動脈ノ外ニ大胸管 Ductus thoracicus 及ビ奇静脈ヲ通ス又裂孔ノ後方ニハ大静脈裂孔アリ下大静脈ハ此裂孔ヲ通リテ腹部ニ入ル

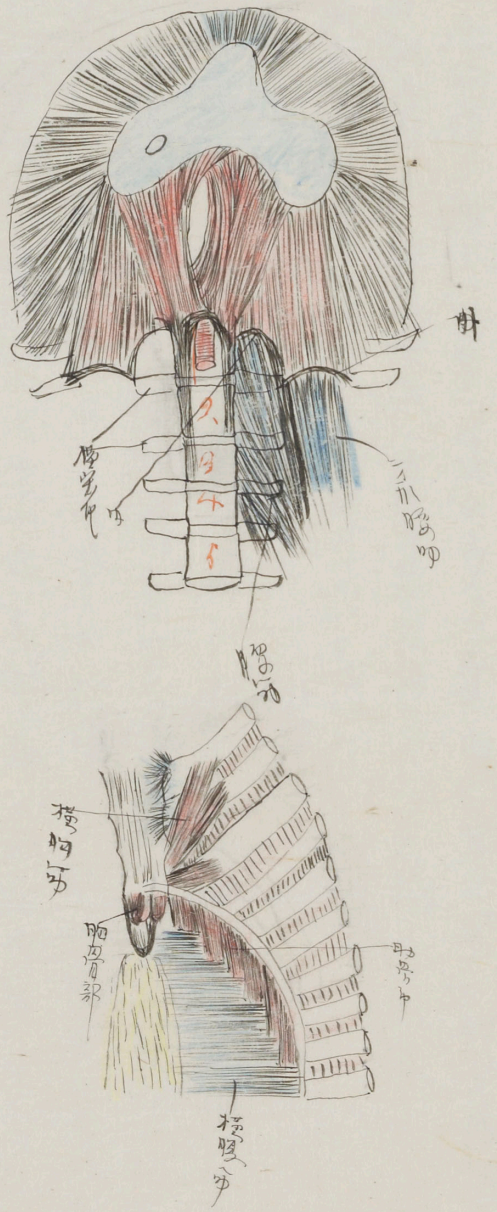
肋骨部

起点 横隔膜ハ肋骨ノ下縁ニ起ル故ニ前ニ高ク後ニ低シ之ヲ肋骨部ト称ス

胸骨部 Pars sternalis

起点 胸骨部ハ胸骨ノ剣状突起ノ後面ニ起ル

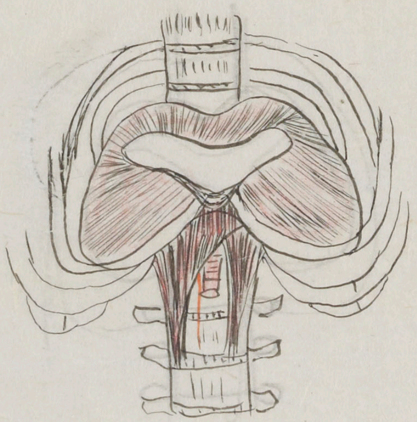
起れ（左腹[illegible]左両上腕[illegible]）
第二又肉部ノモノハ九枝ヨリ成リ之ノ孔ヲ食管裂孔 Hiatus oesophagus トシテ破裂
ヤハ各ノ如ク食管ハ通ジ其他迷走神経モ通ジ其食管裂孔（左室左）
大動脈 裂孔ヲ以テ左方ニアリ
引腹（内外弧形ヲナシ）
ヲ起リ其内側弧形ヲナシ一腱板ヲ作リ白板様ヲナシ
北ニ腎張ヲ以テ腰ヲ過ギ外弧ヲナシ
相接セルヲ以テ
ヨリ成ル
心腹 肩ニ附着ス
肋骨部 Portio sternalis
之部ハ剣状突起（左側）ヲ以テ起リ
様ヲナシ肋軟骨内面ヲ以テ起リ其起点
但シ中心腹ノ左様ニ附着ヲナス
胸骨部 Portio Costalis



第四肋骨剣状突起ニ附着ス直腹ハ前記ノ
ヲ以テ

心腹 肩ニ附着ス
腱質部 Centrum tendineum
一名中心腱
ニ横障腹ノ孔ヨリ中央ニ在リ筋質部ヲ有シ而シテ
ツヽ薬指ヲ挿ミ得ル程ニ鮮ヤカニ
下民鞭ノ如ク其周囲ノ部ヨリ見ル
リ成ル形ノ如シ

前条ノ如ク左右葉ト為ス所ニ是孔有常葉ナシ而シテ是内不足ヲ充ス
ヲ分ッテ後ト前ト為ス下大静脈ノ境界ニ於テ右方ニ稍方形ノ孔ナリ是ヲ
名ケテ下大静脈孔 Foramen Venae Cavae inf 下大静脈ハ方形孔ト称ス
ミニ於テ下大静脈ノ通路トナス是即横隔膜ノ右ノ横隔膜副袖モ亦通ズ



下大静脈ハ前ニ是孔ヲ通過スル際是壁ハ孔ニ密着ス
横隔膜ヲ通過スルトキ即チ胸腔ヨリ腹腔ニ通ズルモノナリ
大動脈裂孔ヨリ入ル 下大動脈ヲ通ズ 是下大動脈ノ右方ノ左ニ在リ 胸管モ通過ス
食道裂孔ナル 食道ヲ通ズ 迷走神経モ亦通ズ

方形孔ハ斯クノ如シ

又椎骨部ノ内外両脚中ニハ交感神経ノ節状索ヲ通ズ
内脚自ラニ於テモ破裂セシ所アリテ是ヲ大内臓神経及ビ右方ニアリテハ奇静
脈左方ニアリテハ半奇静脈モ通ズ其他破裂セシ所アリテ小破裂ヲ生ズ其故ニ
小内臓神経ヲ通ズ
筋質部ニ於テ注意スベキハ
椎骨部ト肋骨部トノ間ハ甚タ薄弱ニシテ其部ニ肋質欠如スル故ニ其部ニハ三角形ノ
筋質ヲ欠如スル部アリテ腰肋三角ト名ク其部ハ腹膜後部ニ向フ故ニ其部ハ胸膜ヲ
胸膜ト腹膜トハ隔膜ヲ挟テ互ニ相接着ス故ニ胸膜炎(肋膜炎)腹膜炎
腹膜ニ波及シ又腹膜内ノ内臓ハ其部ニ露出シテ胸腔内ニ出ルアリテ之ヲ横
隔膜ヘルニヤト云フ
胸骨部(剣状部)ニハ通例三ニ其左右ニ空隙アリ即チ空隙ノ上方ニハ心嚢アリ
蔵ノ下方ニハ直ニ腹膜ニ結締織ナリ故ニ心嚢外ニ於テ腹膜ト結締織ハ直ニ接触ス
胸骨部ト肋骨部ノ間ニ於テモ同ジク肋質ヲ欠ク故ニ三角形ヲ呈スル空隙アリ之レヲラルレー
氏空隙ト名ク其部モ胸膜両膜ハ直接ス故ニ胸部ニ於テ膿瘍アル腹部ニ波及スルノ膿
腔内ノ内臓ノ胸腔内ニ脱出スルアリ

Larrpche spalta

ラルレー氏空隙

横隔膜ハ上方ニ穹窿ス故ニ胸腔ヲ見ルニ胸腔内ニ突出スル部分ハ胸腔ノ底(床)ヲ

肝臓
心臓

之ヲ胸腔ヨリ見ル時ハ胸腔内ニ突出スルヲ以テ之ニ準シテ陥凹ス之ニヨリ腹腔ノ天井トシテ
其穹窿ニ付テ論スレハ中央部ヨリモ左右両部ハ高ク穹窿ヲ擁ス中央部ハ第ニ位シ左右ハ
穹窿ノ最高点ハ乳嘴線ニ於テ胸骨体下部ヨリ第五肋間ニ達ス（右部ハ肝臓左ハ心臓ヲ載ス）
左右穹窿部ハ呼気及吸気ニ依テ関係ヲ異ニス即チ呼気ノ時ハ横隔膜ハ下方ニ降リ吸
気ニ従テ之ヲ以テ呼気ノ際ニ於テハ横隔膜ハ上昇ス故ニ穹ク上昇シテ穹窿ノ其穹窿
高サハ右ニ於テハ乳線ニ於テ第五肋骨ノ下縁ニ達シ左ニ於テハ第五肋骨ノ上縁ニ達ス

作用 横隔膜ハ吸気ノ主筋ニシテ之レガ収縮スル時ハ穹窿頂ハ扁平トナル故ニ胸腔ハ容積ヲ増
加シ之ニ反シテ腹腔ノ容積ハ減ス即チ腹腔内臓ハ圧セラル故ニ前腹壁ハ前方ニ突
出ス之ニ反シテ呼気ノ際ニハ横隔膜ハ上昇ス即チ腹ハ肋骨ノ牽引ニ依テ肋骨モ挙ケテ故ニ横隔
膜ハ上昇スルナリ

呼吸ハ男子ト女子トニ依テ其ノ用カル方 横隔膜ノ働キヲ著シ呼吸ノ有様ニ就テ論スレハ
呼吸式ニ腹式及ヒ肋式ノ二種アリ 安静ノ呼吸ニ於テ一般ニ論スレハ男子ハ腹式呼吸即チ
横隔膜呼吸ヲ為ス故ニ男子ニアリテハ胸部ニ於テ肋骨ノ運動著シク見エス女子ハ肋式呼吸
ヲ為ス故ニ肋骨ノ働ラキ強クシテ胸廓ノ運動著シク見エ其内殊ニ乳嘴ノ部著シ之レ常ニ
腰帯ヲ締ムルヲ以テ横隔膜ノ働カサルニヨリ肋骨作リ加リ故ナリ之ニ反シテ過激ノ呼
吸ヲ為ス場合ニ於テハ両式混合ス所謂混合呼吸ナリ

横隔膜ニアリテハ上部ニ現ハルル中央部ハ心嚢ト其上ニ心臓アリ其左右ニ肺臓アリ
下部ニ現ハルルハ右方ハ肝臓アリ左方ハ胃脾臓膵ノ左部アリ又右ノ左部ハ肝臓
現ハル故ニ横隔膜ハ上部ハ突出シ故ニ呼気ノ際ニ第七肋骨下縁ニ沿ヒ左方ハ即チ第
五肋骨ノ上縁ニ達スナリ

(三) 頸ノ筋 Halsmuskeln

頸ハ背柱ト共ニ前方ニ三部トス皆短ヨリ成ル後方ノ之ヲ項部ト背筋ノ部ニ論ズ前トシ
之ノ頸ノ筋肉ハ背柱ヨリ前部ニ位スルハ皆之ニ論スルモナリ
前頸筋ハ浅層ト深層ヨリ成ル是レ浅層ノ筋ハ頸部ヲ現ハス皮膚ニ（例ヘハ頸闊筋甲状腺其
食道ヲ見ル）及ヒ頸部ノ前面ニ現ハレタルモノニシテ内臓器ハ食道ノ前面ニ現
ハルルモナリ深層ハ深頸筋ヨリ成ル前部ニ位スルナリ

浅頸ノ筋
或ハ浅頸筋ト前頸筋

之ヲ浅頸ノ筋ニ生ス胸骨鎖骨ヨリ起リ斜ニ前上方ニ走リ乳嘴突起ノ上項線ノ左ヘ附
着スル筋ナリ之ヲ胸鎖乳突筋（或ハ頸ガ）（以下）胸骨ヨリ起リ鎖骨附
着スルモナリ之ハ肩胛骨ニ附ス胸骨ヨリ起リ甲状軟骨ニ附着スル筋ナリ之ヲ胸骨
甲状筋ト名ツク甲状軟骨ヨリ起リ舌骨ニ附着スルモナリ之ヲ甲状舌骨筋ト名ク肩胛

m. platysma. s. subcutaneus Colli.

목빗근 m. sternocleidomastoideus

목뿔밑근 m. omohyoideus

목뿔근 m. hyoideus

목갈비근 m. scalenus

목가로돌기사이근 mm. intertransversarii cervicis

목긴근 m. longus colli

목가장긴근 m. longissimus cervicis

목반가시근 m. semispinalis cervicis

목널판근 m. splenius cervicis

목뼈사이근 mm. interspinales cervicis

목가시돌기사이근 mm. interspinales cervicis

목가로돌기사이근 mm. intertransversarii cervicis

목뒤곧은근 m. rectus capitis posterior major

목뒤작은곧은근 m. rectus capitis posterior minor

목뒤큰빗근 m. obliquus capitis inferior

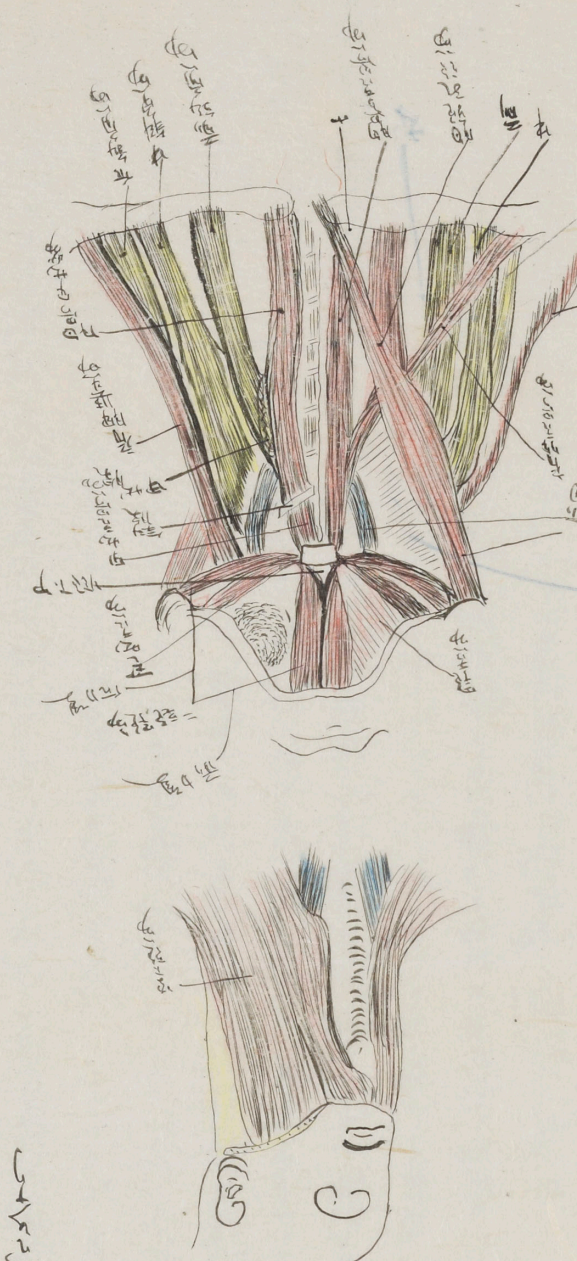
목뒤작은빗근 m. obliquus capitis superior

목뒤곧은근 m. rectus capitis posterior major

목뒤작은곧은근 m. rectus capitis posterior minor

목뒤큰빗근 m. obliquus capitis inferior

목뒤작은빗근 m. obliquus capitis superior



목 근육의 층

(얕은 층부터 깊은 층)

제 1 층

목빗근 m. sternocleidomastoideus

제 2 층

목뿔밑근 m. omohyoideus

목뿔근 m. hyoideus

목갈비근 m. scalenus

제 3 층

목가로돌기사이근 mm. intertransversarii cervicis

목긴근 m. longus colli

목가장긴근 m. longissimus cervicis

목반가시근 m. semispinalis cervicis

목널판근 m. splenius cervicis

목뼈사이근 mm. interspinales cervicis

목가시돌기사이근 mm. interspinales cervicis

목가로돌기사이근 mm. intertransversarii cervicis

제 4 층

목뒤곧은근 m. rectus capitis posterior major

목뒤작은곧은근 m. rectus capitis posterior minor

목뒤큰빗근 m. obliquus capitis inferior

목뒤작은빗근 m. obliquus capitis superior

목뒤곧은근 m. rectus capitis posterior major

목뒤작은곧은근 m. rectus capitis posterior minor

목뒤큰빗근 m. obliquus capitis inferior

목뒤작은빗근 m. obliquus capitis superior

四 肩胛舌骨筋 M. omohyoideus

之ハ細長ナル筋ニシテ前後二腹ト中腱トヨリナル

起首ハ后腹ニシテ肩胛骨上縁ノ截痕ノ近クニシテ上横靭帯ヨリモ起リ鎖骨上縁

ニ沿ヒテ内方ニ走リ更ニ下リテ胸鎖乳嘴筋ノ後ヲ横ギリ前上方ニ走リ一ノ中間腱

トナリ更ニ上リテ前腹トナリ舌骨体下縁ニ附着ス

中間腱ハ頸筋膜ノ深層ト癒着シ或ハ頸動脈管鞘ト連ナル又其ノ中腹ハ

胸骨乳嘴筋ノ前ニ在リテ此ノ筋ハ深ク頸静脈頸動脈ノ前ヲモ横断スルモノナリ

肩胛舌骨筋ト鎖骨トノ間ニ存スル(即チ后腹ト下縁トナス)肩胛鎖骨三角

Trigonum Claviculo-Scapulare ナル三角部ニハ陥凹ヲ生ジ之ヲ陥凹ト大鎖骨上窩

Fossa supraclavicularis major ト云フ

又肩胛舌骨筋前腹ト胸鎖乳嘴筋(前縁)ノ間ヲ頸動脈三角 Trigonum Caroticum

superius ト云ヒ其ノ角ノ其ノ底ニ二腹筋ノ後腹アリ

下頸三角ト云フ

上頸三角ト云フ

作用

胸骨舌骨筋ハ舌骨ヲ下ニ引キ胸骨甲状筋ハ喉頭ヲ下ニ引ク

甲状舌骨筋ハ胸骨舌骨筋ト同時ニ働キ其ノ喉頭ト共ニ舌骨ヲ下ニ引ク

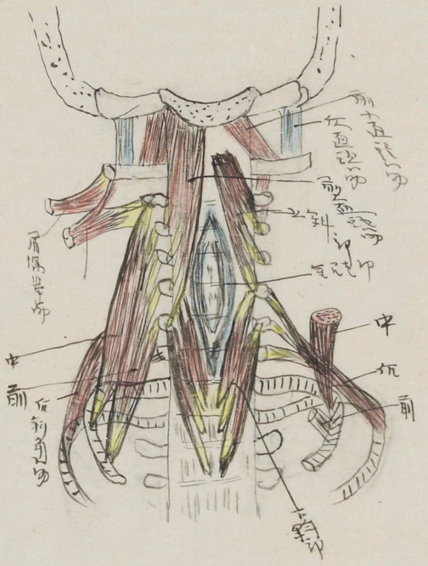
又甲状舌骨筋ハ舌骨ガ固定セラレタル時ハ喉頭ヲ挙上ス

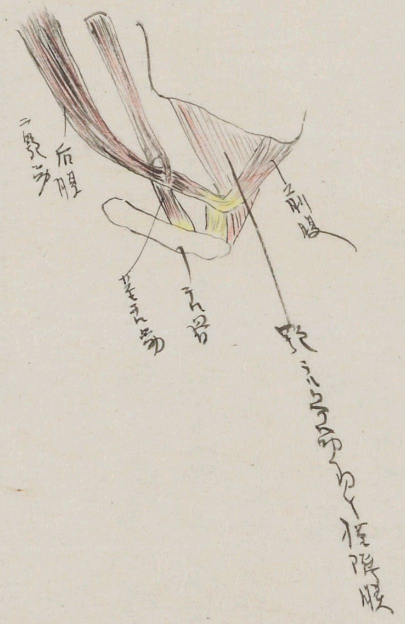
深頸筋

前頸筋

之ハ深頸筋ハ分テ前頸部ニ在ル頸椎ノ横突起外ニ位スルモノト横突起内ニ位スルモノ

トカツ





其横突起外ニ位スルモノハ深頸筋外群ニシテ其ノ外群ニ於テ斜角筋

M. scaleni 夫レ之ニ斜角筋ニハ前中後斜角筋アリ

(一) 前斜角筋 M. scalenus ant.

之ハ三角筋ニシテ第三乃至第六頸椎横突起前結節ヨリ起リ(腱性ニ)前下方

ニ向ヒ下降シ第一肋骨ノ上面ニシテ鎖骨下動脈溝ノ前ニ附着ス

筋各論

上肢の筋

筋は：上肢帯の一部を動かすもの　骨格筋の一部で、神経支配で随意的に収縮する

① 三角筋 *m. deltoideus*

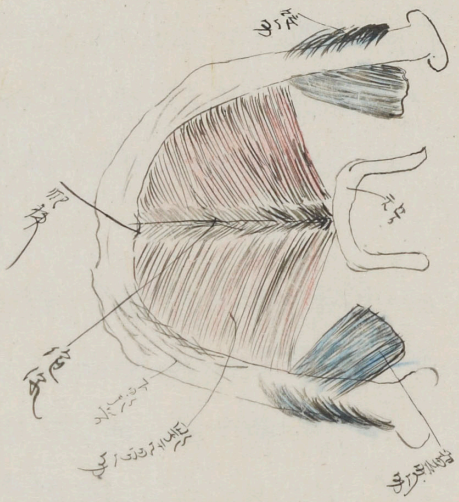
肩関節を覆う筋肉

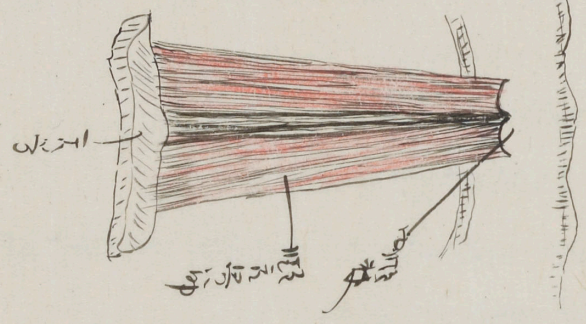
起始：鎖骨の外側1/3、肩峰、肩甲棘

停止：上腕骨の三角筋粗面

神経支配：腋窩神経

作用：肩関節の外転（上腕骨を体幹から離す）





② 棘上筋 *m. supraspinatus*

起始：肩甲骨の棘上窩

停止：上腕骨の大結節

神経支配：肩甲上神経

作用：肩関節の外転（三角筋の補助）

③ 棘下筋 *m. infraspinatus*

起始：肩甲骨の棘下窩

停止：上腕骨の大結節

神経支配：肩甲上神経

作用：肩関節の外旋

④ 小円筋 *m. teres minor*

起始：肩甲骨の外側縁の上部

停止：上腕骨の大結節

神経支配：腋窩神経

作用：肩関節の外旋

⑤ 大円筋 *m. teres major*

起始：肩甲骨の下角、外側縁の下部

停止：上腕骨の小結節稜

神経支配：肩甲下神経

作用：肩関節の内転、内旋、伸展

⑥ 肩甲下筋 *m. subscapularis*

起始：肩甲骨の肩甲下窩

停止：上腕骨の小結節

神経支配：肩甲下神経

作用：肩関節の内旋

附着ハ前脚舌骨部ト相對シテ附着ス

外行シ且ツ起始部ハ胸鎖乳頭筋ノ爲メニ被ハル
二腹筋ノ腱ヲ經テ外側ニ向ヒ轉シテ前上方ニ向ヒ走リテ下顎骨ノ二腹筋窩
ニ附着ス
腹ト腹ハ腱膜状ノ纖維膜ニ依テ舌骨体ト大角ニ附着セラル又左右腹ヲ連
結シ論スル甚キ舌骨ハ前腹ノ舌骨ニ近ク中ノ寄ツテ居ル

作用 前腹ハ舌骨ヲ前上方ニ舉上ス二前腹ハ舌骨ヲ前上方ニ舉上ス両腹同時
ニ收縮シ下顎骨固定セラルル時ハ舌骨ヲ上方ニ舉上ス又舌骨ノ固定セル時
ニ於テハ下顎骨ヲ下牽ス

(四) 茎突舌骨筋 M. stylohyoideus

二腹筋後腹ノ內方(前)ニ位スル長紡錘状筋ナリ

起始 顳顬骨茎状突起ノ外及ヒ後面ヨリ起リ前下方ニ向ヒ斜走シテ舌骨体ト大角トノ
接合部ニ附着ス

作用 之レハ舌骨ヲ後上方ニ舉上ス而シテ口腔ノ底ヲ成ス
押壓迫ス

下顎骨ニ舌骨ヲ固定セ張スル筋

(五) 顎舌骨筋 M. mylohyoideus

(一) 口腔横隔膜 Diaphragma mandibulae

下顎横隔ト云フ

之レハ扁平ナ前筋ナリ

起始 下顎骨ノ內斜線ニ沿ヒ起リ内下方ニ向ヒ(大ナル)走リ而シテ其底方ノ長纖維ハ
舌骨体ト附着ス且他ノ側ノ纖維ト共ニ相交叉シ腸肉状ノ縫線ヲ見ル即チ於テハ下顎骨
ヨリ舌骨ニ至ル所ノ縫線ヲ形成ス(下正中線ニ於テ舌骨ヨリ起ルモノアリ)
之レハ丸ノ如ク口腔横隔膜ニシテ下面ニハ二腹筋前腹ヲ以テ下腺ヲ埋ム
上面ニハ頤舌骨筋アリ舌下腺ヲ埋ム

(六) 頤舌骨筋 M. geniohyoideus

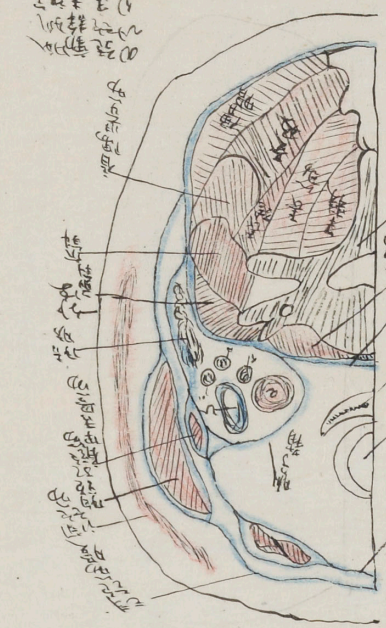
之レ顎舌骨筋ノ上方ニ位スル筋ニシテ左右相接スル筋ナリ

起始 下顎骨ノ内頤棘(内側ヲ見ヨ二下ヲ見ヨ)ヨリ起リ直ニ後方ニ走リ舌骨体ニ
附着ス又左右ニ並ンデ頤舌骨筋ト接ス

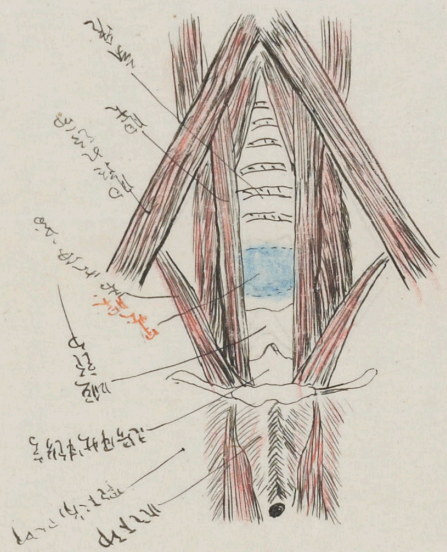
作用 顎舌骨筋ト共ニ舌骨ヲ前上方ニ舉上ス

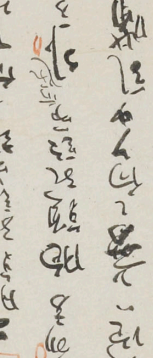
頸部筋ノ解剖

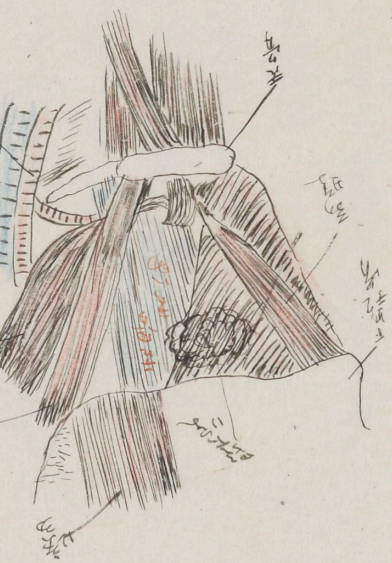
頸部ノ諸筋ハ骨格ト不可分ノ關係ニシテ血管ト神經ノ位置ヲ知ルカ爲
肝要ニシテ長キ頸ハ筋ノ深層ハ見ル且視難ナリ今頸部ヲ分ケテ中頸部ト外頸部
トス

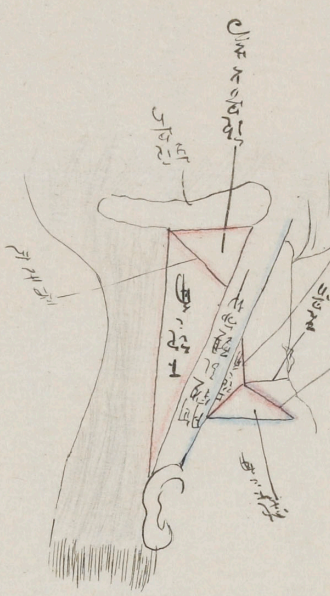


(상완골)









[illegible]

前方ヨリ後ヘ進ミ頸椎ノ横突起ニ附着シ其ノ後ノ筋膜ニ移行ス
下方ノ半分ハ内胸ノ筋膜(縦隔) ニ移行ス及ビ之レ胸内筋膜
移行シ頸部内臓ト頸管トヲ包ミテ縦隔ノ疎性結締組織ニ連ナリ
内臓頸部ノ前部ヲ覆フ又頸部内臓ノ前及ビ下ノ中頸筋膜ト共ニアリテ前縦
隔ニ通ズ之ヲ内臓前部ノ空洞ト云フ 其ノ中頸筋膜ト頸筋膜(内臓筋)
洞ハ頸部前部ヲ覆ヒテ之ノ周囲ノ脈管ヲ被覆ス 其ノ脈管 周囲ノ脈絡
アリ前縦隔ト連結ス

浅頸上部

浅頸筋膜ハ頸ノ深部ノ筋膜ト区別シ浅頸ハ筋膜ト中頸筋膜トヲ区別スル
浅頸筋膜ハ舌骨下ノ浅頸筋膜ノ連続ニシテ二層ノ筋膜ハ下方ハ上部ヲ
頸下腺ヲ被フ其ノ頸下腺ヲ被フテハ二枚ニナリ被ヒ上部ハ下顎骨ノ
下縁ニ附着シ後ハ耳下腺筋膜ト移行シ及ビ胸鎖乳突筋膜ニ移行ス
中頸筋膜ハ下部ハ舌骨ニ附着シ而シテ舌骨ノ…
被ヒ頸下腺ヲ下部ニ在リ其ノ二腹筋…
茎突舌骨筋ヲ被ヒ…
ハ筋膜ニ移行ス

咀嚼筋 (Kaumuskeln) Musculi mandibulae

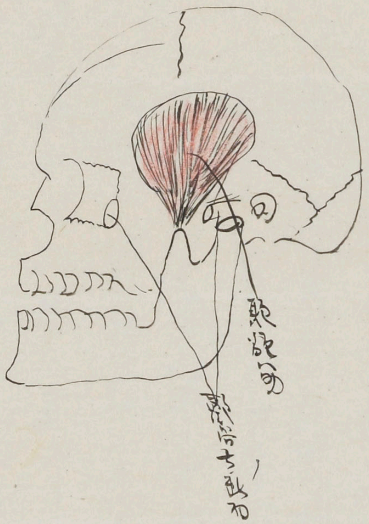
(一) 顳顬筋 m. temporalis

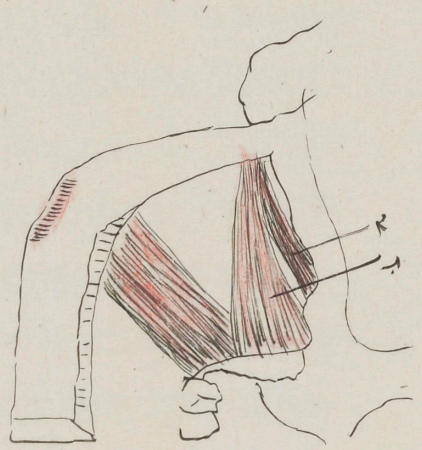
(名)下顎筋

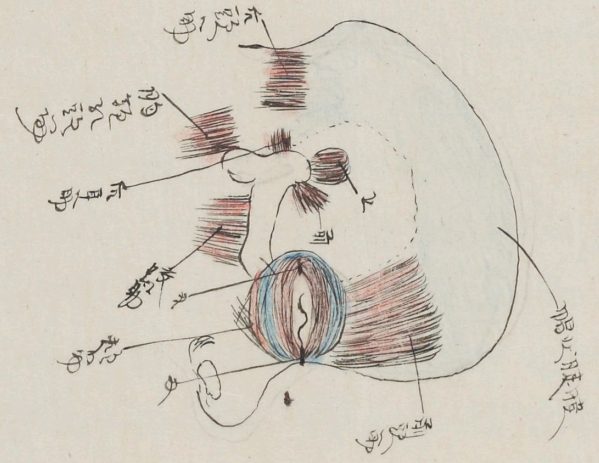
之ハ顳顬ノ窩ヲ充タス扇状ノ筋ナリ

起始ハ全顳顬窩ヨリ起リ扁平ニシテ上方ハ顳顬線 下部ハ下顳顬線及ビ顳顬筋膜
ヨリ起ル前下方ニ向ヒテ走リ之ノ集束シテ狭窄トナリ強大ナル腱ニ移行シテ而シテ
頬骨弓ノ内方ノ下方ヲ通過シ下顎骨ノ烏喙突起ニ附着ス

[illegible]







胸筋の作用

大胸筋：上肢の挙上、内転、内旋

小胸筋：肩甲骨を下方、前方に引く。吸気補助筋

前鋸筋：肩甲骨を前方に引く。吸気補助筋

鎖骨下筋：鎖骨を下方に引く。

外腹斜筋：体幹の屈曲、回旋、側屈。吸気補助筋

内腹斜筋：体幹の屈曲、回旋、側屈。吸気補助筋

腹直筋：体幹の屈曲。吸気補助筋

錐体筋：腹直筋を緊張させる。

大胸筋 m. pectoralis major.

小胸筋 m. pectoralis minor.

鎖骨下筋 m. subclavius

前鋸筋 m. serratus anterior

外腹斜筋 m. obliquus externus abdominis

内腹斜筋 m. obliquus internus abdominis

腹直筋 m. rectus abdominis

錐体筋 m. pyramidalis

喉ハ節ニ下顎骨ト舌骨トノ間ニ在リ（其二ハ著シキ部ナリ直ニ舌骨筋ニ属ス）
皮膚ヲ以テ下顎骨ト舌骨ヲ兼ヌ下顎骨ヲ前方ニ引ク
後ニ在テ其日内ニ働ク時ハ下顎骨ヲ上ニ引キ向ヒ押圧シ又喉頭部ヲ咽喉部ニ
内ニ在リテ下顎骨ヲ直接ニ挙上ス此ノ顎舌骨筋ト共ニ働ク時ハ前方ニ兼テ
挙上スルナリ
外翼突筋ハ両翼口ノ翼突窩ヨリ起リ下顎骨ニ至ル其後下顎骨ノ関節突起、関節嚢
ハ此筋ニ属シ其上ニ至リテ翼突ニ会合シ此等ノ協力ニ依テ口ヲ開キ下顎骨ヲ前方ニ引ク
相互ニ其位置ヲ変ルコト恰モ斯ノ如シ其作用ニ依テ此ヲ臼磨ノ運動ト云フ
又両側ノ内翼突筋ハ口ヲ閉鎖スルニ下顎骨ノ関節突起ヲ内前方ニ向テ引ク
故ニ下顎骨ヲ対側ノ方ニ変位シ所作用シ方ヘ余分ナル力ヲ以テ食物ヲ咀嚼シ易キ
必要ナル力ヲ増進シ向テ大ニ必要ナリ

頭蓋頂ノ筋 M. epicranius

之レ頭蓋ノ前部ト後部ニ現ハレ分レテ前部現ハ之ヲ上眼窩縁ヨリ帽状腱膜ニ連ル
後部現ハ之ヲ上項線ヨリ帽状腱膜ニ連ル何レモ扁平ナル筋ナリ
前部ノ現ハ之ヲ

前頭筋 M. frontalis s. Cranii

帽状腱膜ハ頭頂ニ於テ行ス
前ノ部分ハ後ニ於テ之ヲ起ス
月状線ヲ以テ之ヲ頭頂ニ

起首 鼻骨 眼窩上縁、上眼窩縁ノ前頭突起ヨリ起リ上ニ向ヒ
前頭洞ヲ越ヘテ帽状腱膜ニ移行ス
又其一部ハ鼻根ニ於テ鼻骨ヲ起ス部ヲ鼻根筋トナス之ヲ接鼻筋或ハ鼻背筋
M. dorsalis nasi トス

右部ハ後頭ノ筋

後頭筋 M. occipitalis

起首 上項線（後頭骨）ヨリ起リ上方ニ向ヒ弓状ニ走リ上後頭ニ至リ帽状腱膜ニ移行
又前頭筋ノ前頭ニ向テ後頭筋ノ扁平ナル移行ヲナセリ

作用

前頭筋ハ両眼ヲ開キ帽状腱膜ヲ（頭頂腱膜）前方ニ引ク
後頭筋ハ両眼ヲ閉ヂ帽状腱膜ヲ後方ニ引ク故ニ
前頭筋ハ両眼ヲ開キ前頭ノ皮膚ヲ前方ニ引ク故ニ皮膚ヲ皺襞ス
骨ニ向テ強ク動ク
前頭筋ハ之ヲ緊張シ帽状腱膜ヲ前方ニ引ク故ニ前頭部ニ於テ横ノ皺襞ヲ生ス
又眉毛ヲ上方ニ引クナリ

帽状腱膜 Galea aponeurotica

○而シテ帽状腱膜ハ前方ハ前頭筋ニ連ナリ後方ハ後頭筋ニ連ナリ左右両側ハ薄弱トナリテ漸次顳顬筋膜ニ移行ス

頭蓋帽状腱膜 Galea aponeurotica Cranii

之ハ強靭ナル腱膜（強キ線維膜）ニシテ骨膜ト疎性結締織ニ依リ結合セル故ニ帽状腱膜ト骨膜トノ間ハ一種ノ腔隙ヲ有シ頭皮ト共ニ移動ス

外耳筋 Musculi auriculae

之ハ其ノ存在ノ位置ニヨリ三分シテ区別ス

(一) 前耳介筋 m. auricularis anterior

之ハ耳輪ノ前方（耳輪軟骨）ヨリ起リ前方ニ走リテ上方ニ向ヒ顳顬ノ筋膜（帽状腱膜）ニ移行ス
故ニ前頭筋ト眼瞼輪匝筋ノ反対ニ達シ之ト其ノ筋ト錯綜ス

(二) 上耳介筋 m. auricularis superior

之ハ耳輪ノ上部ヨリ起リ上方ニ向ヒ扇状ニ拡ガリ（扇）顳顬筋膜ノ帽状腱膜ニ移行ス

(三) 後耳介筋 m. auricularis posterior

之ハ其ノ後方ヨリ起リ後頭骨ノ乳様突起ノ外部ニ於テ（胸鎖乳突筋ノ腱膜ヨリモ）起リテ前方ニ走リ耳輪（外）ノ後方ニ至リ降リテ附着ス
（之ニ筋ノ存在セザルコトアリ）

外耳筋ノ作用

耳前筋ハ耳軟骨ヲ前方ニ引ク
耳上筋ハ耳軟骨ヲ上方ニ引ク
耳後筋ハ耳軟骨ヲ後方ニ引ク 又之ニ筋ノ発達シタル者ハ耳ヲ動カスコトヲ得ル

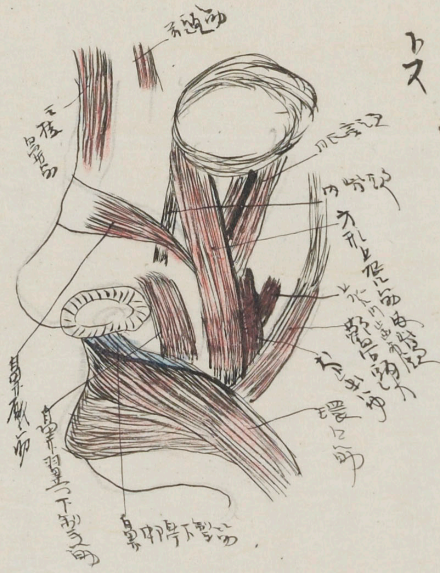
之ニ筋ノ発達セル人ハ耳ヲ動カシ得ル

眼周筋 Muskeln der Augenlider

之ハ眼周ノ筋ニ属スルモノハ

眼瞼輪匝筋 m. orbicularis oculi

本筋ハ眼瞼及ビ眼窩ノ周囲ヲ囲ム所ノ筋ナリ 故ニ之ヲ分ケテ眼窩部及ビ眼瞼部トス



眼瞼部 Pars palpebralis
或眼瞼筋 m. palpebralis トモ云フ

係ると自余中傳軟骨ニ附着ス

m. temporalis 顳顬筋

之ハ扇ノ如キ形ヲナシ起ル角自余ノ筋ニ比シ最モ大ニシテ高ク起ル即チ上顳顬線ノ全部ト之ニ接スル頭蓋骨ノ一部トヨリ起リ漸々ニ收斂シテ腱トナリ下行シテ腱ハ外側ニ向ヒ自余ノ筋ニ比シ最モ大ニシテ高ク起ル即チ上顳顬線ノ全部ト之ニ接スル頭蓋骨ノ一部トヨリ起リ漸々ニ收斂シテ腱トナリ下行シテ腱ハ外側ニ向ヒ自余ノ筋ニ比シ最モ大ニシテ高ク起ル即チ上顳顬線ノ全部ト之ニ接スル頭蓋骨ノ一部トヨリ起リ漸々ニ收斂シテ腱トナリ下行シテ腱ハ外側ニ向ヒ

m. masseter 咬筋

之ハ四角ノ扁平ナル筋ニシテ上顎骨ノ顴骨突起ト顴骨弓トヨリ起リ下行シテ下顎骨ノ咬筋粗面ニ停ル

m. pterygoideus internus 内翼突筋

之ハ咬筋ト相似タル筋ニシテ翼突窩ト口蓋骨錐体突起トヨリ起リ下行シテ下顎骨ノ内面ニ停ル

m. pterygoideus externus 外翼突筋

之ハ小ニシテ短キ筋ニシテ蝶形骨翼状突起ノ外面ト側頭骨ノ一部トヨリ起リ後外方ニ向ヒテ走リ下顎骨ノ関節突起ニ停ル

m. buccinator 頬筋

m. constrictor labiorum 口輪筋

之ハ口ノ周囲ニ輪状ニ存スル筋ニシテ口ノ周囲ノ諸筋ノ一部ヨリ起リ口ノ周囲ニ輪状ニ存スル筋ニシテ口ノ周囲ノ諸筋ノ一部ヨリ起リ

m. caninus 犬歯筋

之ハ口角ノ内側ニ在リ上顎骨ノ犬歯窩ヨリ起リ口角ニ停ル

m. zygomaticus 顴骨筋

之ハ口角ノ外側ニ在リ顴骨ヨリ起リ口角ニ停ル

m. depressor labii inferioris 下唇下制筋

之ハ下唇ノ外側ニ在リ下顎骨ノ外面ヨリ起リ下唇ニ停ル

m. depressor anguli oris 口角下制筋

之ハ口角ノ外側ニ在リ下顎骨ノ外面ヨリ起リ口角ニ停ル

m. levator labii superioris alaeque nasi 上唇鼻翼挙筋

之ハ上顎骨ノ前頭突起ト鼻骨トヨリ起リ下行シテ上唇ト鼻翼トニ停ル

m. levator labii superioris 上唇挙筋

之ハ上顎骨ノ眼窩下縁ヨリ起リ下行シテ上唇ニ停ル

m. zygomaticus minor 小顴骨筋

之ハ顴骨ノ外面ヨリ起リ下行シテ上唇ニ停ル

m. levator anguli oris 口角挙筋

之ハ上顎骨ノ犬歯窩ヨリ起リ口角ニ停ル

m. orbicularis palpebrarum 眼輪筋

之ハ眼ノ周囲ニ輪状ニ存スル筋ニシテ眼窩ノ周囲ノ骨ヨリ起リ輪状ニ周囲ニ走リ眼瞼ニ停ル

m. corrugator supercilii 皺眉筋

之ハ眉ノ内側ニ在リ前頭骨ヨリ起リ眉ニ停ル

m. frontalis 前頭筋

之ハ前頭ノ皮下ニ在リ前頭ノ皮膚ニ停ル

m. auricularis anterior 耳介前筋

m. auricularis superior 耳介上筋

m. auricularis posterior 耳介後筋

之ハ耳介ノ周囲ニ在リ側頭骨ヨリ起リ耳介ニ停ル

m. nasalis 鼻筋

之ハ鼻ノ外側ニ在リ上顎骨ヨリ起リ鼻ニ停ル

m. depressor alae nasi 鼻翼下制筋

之ハ鼻翼ノ外側ニ在リ上顎骨ヨリ起リ鼻翼ニ停ル

m. depressor septi mobilis nasi 鼻中隔可動部下制筋

之ハ鼻中隔ノ可動部ニ在リ上顎骨ヨリ起リ鼻中隔軟骨ニ停ル

m. dilatator naris 鼻孔擴筋

之ハ鼻孔ノ外側ニ在リ上顎骨ヨリ起リ鼻孔ノ外側ニ停ル

m. compressor naris 鼻壓筋

之ハ鼻ノ背ニ在リ上顎骨ヨリ起リ鼻ニ停ル

m. compressor labii superioris 上唇壓筋

之ハ上唇ノ内側ニ在リ上顎骨ヨリ起リ上唇ニ停ル

m. depressor labii superioris 上唇下制筋

之ハ上唇ノ外側ニ在リ上顎骨ヨリ起リ上唇ニ停ル

m. depressor labii inferioris 下唇下制筋

之ハ下唇ノ外側ニ在リ下顎骨ヨリ起リ下唇ニ停ル

m. mentalis 頤筋

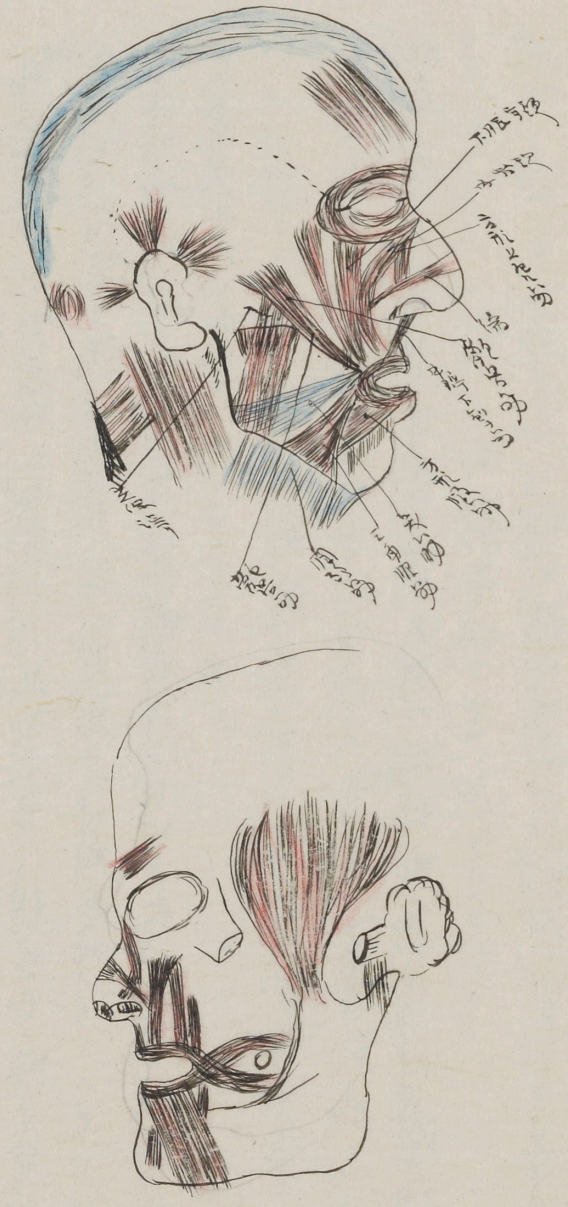
之ハ口ノ周囲ニ輪状ニ存スル筋ニシテ口ノ周囲ノ諸筋ノ一部ヨリ起リ口ノ周囲ニ輪状ニ存スル筋ニシテ口ノ周囲ノ諸筋ノ一部ヨリ起リ

m. buccinator 頬筋

之ハ口角ノ内側ニ在リ上顎骨ヨリ起リ口角ニ停ル

m. constrictor labiorum 口輪筋

之ハ口ノ周囲ニ輪状ニ存スル筋ニシテ口ノ周囲ノ諸筋ノ一部ヨリ起リ口ノ周囲ニ輪状ニ存スル筋ニシテ口ノ周囲ノ諸筋ノ一部ヨリ起リ



(三) 三角筋 Trianyularis menti
下唇下制筋 m. depressor:
下唇の外側下方から起り、下唇の外側下方に終る。下唇を下方に引く。

(四) 横筋 m. transversus menti
左右の下唇下制筋の内側縁から起り、下唇の皮膚に終る。下唇を後方に引く。

(三) 犬歯筋 m. risorius Santorini
口角の皮膚から起り、外方に走って耳下腺の前縁に終る。口角を外方に引く。

(四) 頬骨筋 m. Zygomaticus
大頬骨筋 m. Zygomaticus major.
頬骨の側面から起り、口角に終る。口角を上外方に引く。

(五) 方形上唇筋 m. quadratus labii superior
(これは二つに分れる)

(一) 上唇挙筋鼻翼筋 Caput angulare 上唇挙筋の一部:
m. leuator labii sup alaque nasi
上顎骨前頭突起の下縁から起り、上唇の皮膚に終る。上唇を上方に引く。

(二) 上唇挙筋 Caput infraorbitale 上唇挙筋の一部
眼窩下筋 leuator lab sup proprius
上顎骨の眼窩下縁から起り、上唇の皮膚に終る。上唇を上方に引く。

(三) 小頬骨筋 m. Zygomat 小頬骨筋の一部:
小頬骨筋 m. Zygomaticus minor

: 下唇方形筋 m. depressor labii inferior

㊁ 下唇方形筋 m. quadratus labii inferior

㊂ 頤筋 m. quadratus menti

（下唇を下方に引き下げる）

㊃ 犬歯筋 m. caninus

㊄ 口角挙筋 m.

㊅ 大頬骨筋 m. zygomaticus major

㊆ 小頬骨筋 m. zygomaticus minor

㊇ 笑筋 m. risorius

㊈ 口輪筋 m. orbicularis oris

㊉ 頬筋 m. buccinator

㊊ 口唇間切痕 mm incisura inf

㊋ 口唇間切痕 mm incisura sup

㊌ 口裂 rima oris

[illegible]

ニレ属 *Ulmus*

オヒョウ *Ulmus laciniata* Mayr

北海道の山地に生ずる落葉喬木で、樹皮は灰褐色で縦に裂け、葉は互生し、卵形で鋸歯があり、基部は左右不相等である。花は春に葉に先だって開き、両性で、萼は鐘形で五裂し、雄蕊は五本、雌蕊は一本である。翼果は楕円形で、縁に毛がある。

ハルニレ

北海道・本州・四国・九州の山地に生ずる落葉喬木で、樹皮は灰褐色で縦に裂け、葉は互生し、卵形で鋸歯があり、基部は左右不相等である。花は春に葉に先だって開き、両性で、萼は鐘形で五裂し、雄蕊は五本、雌蕊は一本である。翼果は楕円形で、縁に毛がある。

ケヤキ

本州・四国・九州の山地に生ずる落葉喬木で、樹皮は灰褐色で縦に裂け、葉は互生し、卵形で鋸歯があり、基部は左右不相等である。花は春に葉に先だって開き、両性で、萼は鐘形で五裂し、雄蕊は五本、雌蕊は一本である。翼果は楕円形で、縁に毛がある。

ハルニレ

北海道・本州・四国・九州の山地に生ずる落葉喬木で、樹皮は灰褐色で縦に裂け、葉は互生し、卵形で鋸歯があり、基部は左右不相等である。花は春に葉に先だって開き、両性で、萼は鐘形で五裂し、雄蕊は五本、雌蕊は一本である。翼果は楕円形で、縁に毛がある。

ケヤキ

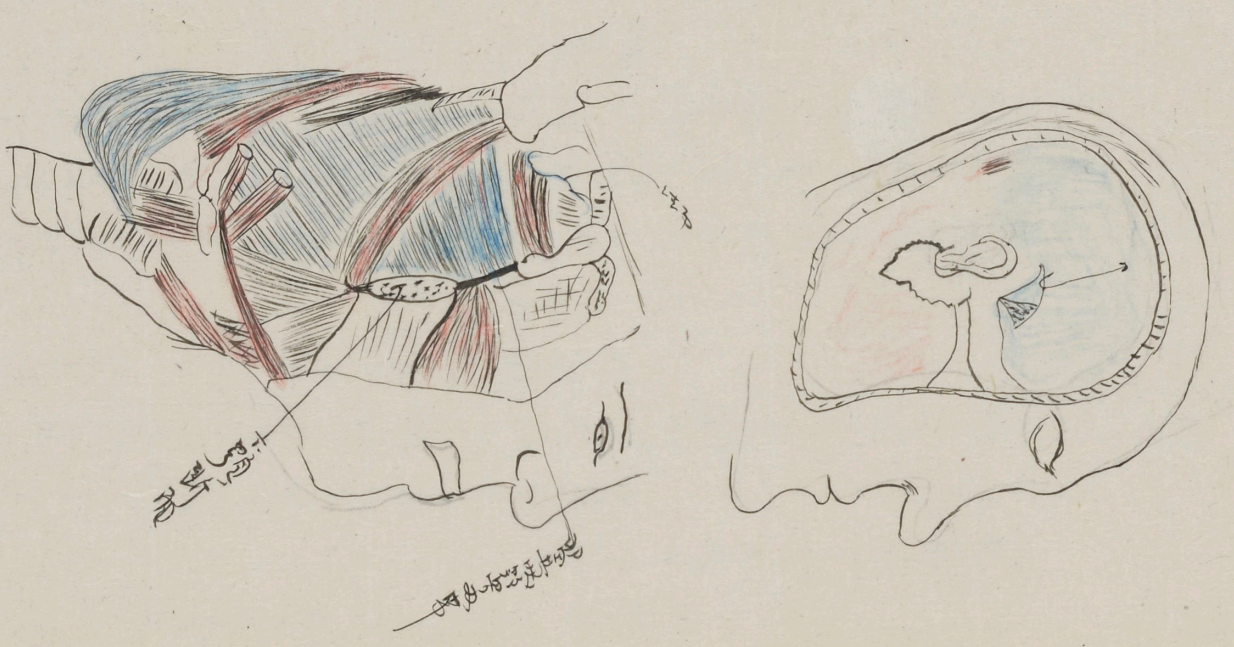
本州・四国・九州の山地に生ずる落葉喬木で、樹皮は灰褐色で縦に裂け、葉は互生し、卵形で鋸歯があり、基部は左右不相等である。花は春に葉に先だって開き、両性で、萼は鐘形で五裂し、雄蕊は五本、雌蕊は一本である。翼果は楕円形で、縁に毛がある。

ハルニレ

北海道・本州・四国・九州の山地に生ずる落葉喬木で、樹皮は灰褐色で縦に裂け、葉は互生し、卵形で鋸歯があり、基部は左右不相等である。花は春に葉に先だって開き、両性で、萼は鐘形で五裂し、雄蕊は五本、雌蕊は一本である。翼果は楕円形で、縁に毛がある。

ケヤキ

本州・四国・九州の山地に生ずる落葉喬木で、樹皮は灰褐色で縦に裂け、葉は互生し、卵形で鋸歯があり、基部は左右不相等である。花は春に葉に先だって開き、両性で、萼は鐘形で五裂し、雄蕊は五本、雌蕊は一本である。翼果は楕円形で、縁に毛がある。



三角肌和胸大肌 Deltoideus-pectoralis

三角肌：肩关节周围的肌肉，呈三角形，覆盖肩关节前、外、后侧，使上臂外展、前屈、后伸。胸大肌：位于胸前壁上部，起于锁骨内侧半、胸骨和上六肋软骨，止于肱骨大结节嵴，使上臂内收、内旋、前屈。

四 物 Dinge, Sachen

三 物 Dinge, Sachen

二 物 Dinge, Sachen

(一) 事物 Dinge, Sachen

(二)

これは事物の概念であるが、これは物の概念である。事物は物であるが、物は事物ではない。事物は物の一種である。

事物 Dinge

事物には二つの種類がある。

二 自然物 Naturdinge

これは自然によってつくられたものである。

二 人工物 Kunstdinge

これは人間によってつくられたものである。

三 物 Dinge, Sachen

物には二つの種類がある。

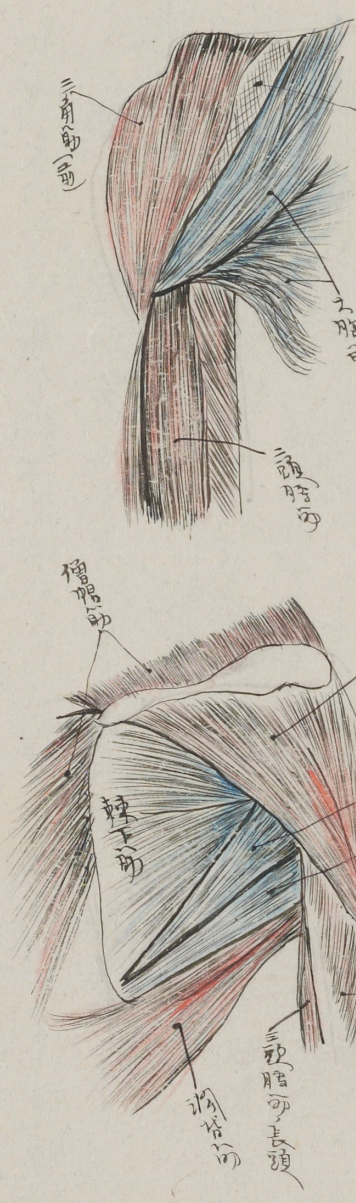
一 自然物 Naturdinge

これは自然によってつくられたものである。

二 人工物 Kunstdinge

これは人間によってつくられたものである。

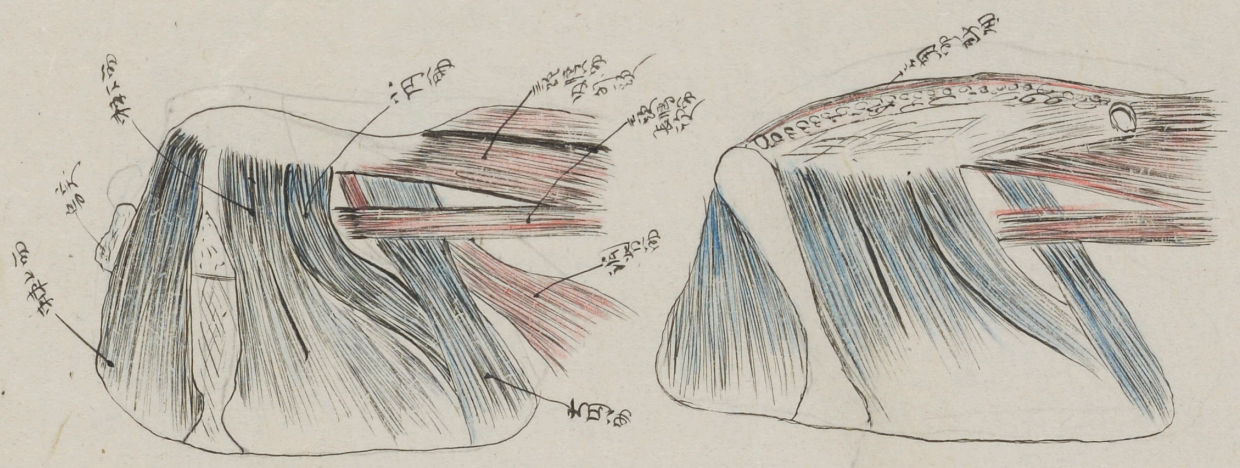
四 物 Dinge, Sachen

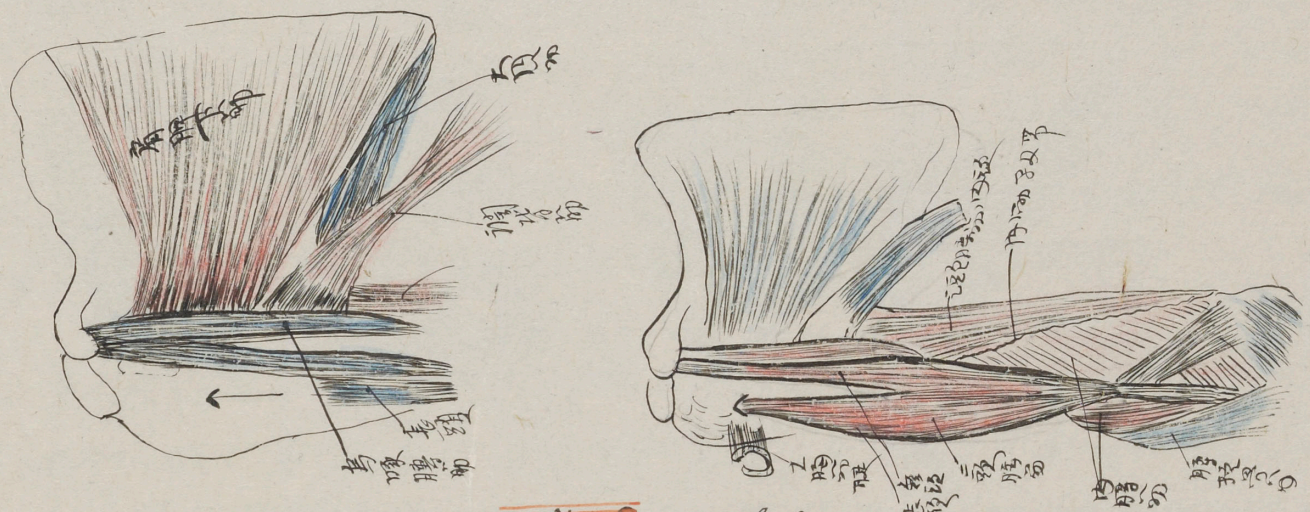

三角筋(一部)
大胸筋
頭静脈
僧帽筋
三角筋(一部)
烏口腕筋
上腕二頭筋
三頭筋の長頭
烏口腕筋

小円筋 m. teres minor

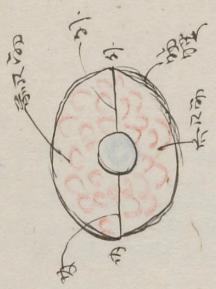
大円筋 m. teres major

肩甲下筋 m. subscapularis





上腕筋 Muskeln des Oberarmes

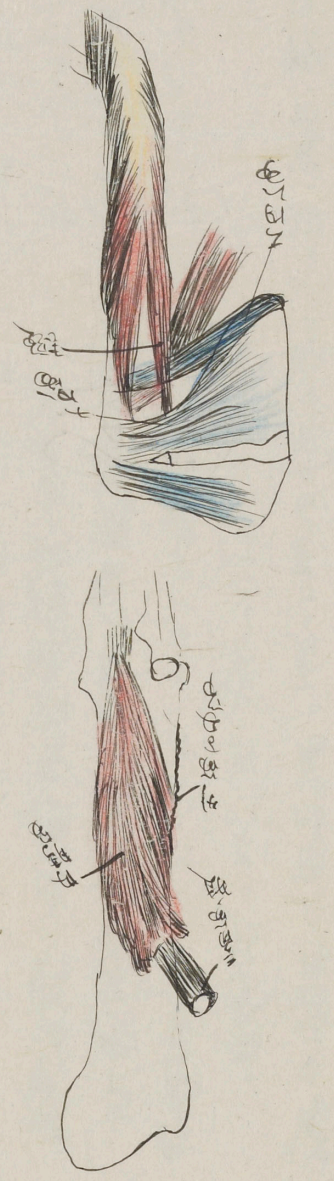


腱間靭帯 Ligamentum intermusculale internum

筋間靭帯 Ligamentum intermusculale externum

(一) 二頭腕筋 m. biceps brachii

短頭 Caput breve (烏口腕筋) m. Coraco radialis



m. coracobrachialis

m. brachialis internus

m. biceps brachii

Bursa musculi coracobrachialis

Bursa musculi subscapularis

Bursa musculi pectoralis major

Bursa musculi deltoidei

Bursa musculi bicipitis brachii

Bursa musculi tricipitis brachii

Bursa musculi brachialis

Bursa musculi bicipitoradialis

(2)

C 中央手ヘ肋 ニテ歩ヲ進メ
挽肢ヲ肋 ニテ
ヒ肋ノ肩ヲ肉花ヒ肋ノ肩ヲ見ヲ
ノ中指ノ腱ノ接ヲ下ヲ肉在ニ肉ノ環指ノ
ヒ足ヲ下ヘ歩ニ屈技ヒ肋ノ肉ノ下ヲ下行ト帰手ノ腱ヲ
接ヲ足ヲ下ヲ後指肉ヒ肋ノ腱ヲ移行ス
作命 分時ヲ指ヒ肋ノ肢ヲ環指ヲ
短屈ヲ技ヒ肋ノ指ヲ肢ヲ
対向ヲ指ヒ肋ノ指ヲ掬ヲ対向ヲ
中指ヲ肋ノ肩ヲ下ヲ方ヲ指ヲ

C 肩関節ヘ肋 ニテ上肢ヲ肩関節ヲ中心トシテ前方ヘ
高肋ノ高サ迄手掌ヲ下ス

(一) 手指掌骨ノ尺ヲ把ヲ
指肢節ノ基ヲ底ヲ後指伸肋ノ腱ヲ移行ス
(二) 環指掌骨ノ尺ヲ把ヲ
底ヲ面ヲ腕ヲ移行ス
(三) 小指掌骨ノ尺ヲ把ヲ
底ヲ面ヲ腕ヲ移行ス
(四) 小指掌骨ノ尺ヲ把ヲ
掌ヲ下腱ヲ移行ス

作命 各指ノ中指ニ向ヒ集合ス肋再移肋ヲ又屯指ヲ全時ニ回帰スル肋ヲ
命ス肋

各上肢肩関節ヲ中心トシテ上肢ヲ前方ヘ高肋ノ高サ迄
羽状ニ対ス掌面ヲ把ス
(四) 手指ノ指骨ヲ理ヒテ手指肢ノ腱腹ヲ移行ス

4 環境と人間

生活と環境

環境とは　生物をとりまく、さまざまなものごとを環境という。生物は、環境から影響を受けるとともに、環境に働きかけて、環境を変えながら生活している。

自然環境　光・温度・水・空気・土壌などの非生物的環境と、動物・植物・微生物などの生物的環境がある。

人工環境　人間が、自然環境に働きかけて、自然環境を変えてつくった環境を人工環境という。農地・都市・工業地帯などがある。

人間と環境　人間は、自然環境を利用して生活してきたが、人口の増加や生活様式の変化にともない、自然環境を大きく変えてきた。

環境問題　人間の活動が、自然環境や人工環境に悪い影響をおよぼすことを環境問題という。

公害　人間の活動によって、大気・水・土壌などが汚染され、人の健康や生活に被害が生じることを公害という。

四大公害　日本の高度経済成長期に発生した、四日市ぜんそく・水俣病・新潟水俣病・イタイイタイ病の4つの公害を四大公害という。

大気汚染　工場や自動車の排出ガスなどにより、大気が汚染されること。四日市ぜんそくの原因。

水質汚濁　工場排水や生活排水などにより、水が汚染されること。水俣病・新潟水俣病・イタイイタイ病の原因。

水俣病　熊本県の水俣湾周辺で発生した公害病。メチル水銀を含む工場排水が原因。

新潟水俣病　新潟県の阿賀野川流域で発生した公害病。メチル水銀を含む工場排水が原因。

イタイイタイ病　富山県の神通川流域で発生した公害病。カドミウムを含む鉱山排水が原因。

四日市ぜんそく　三重県の四日市で発生した公害病。硫黄酸化物を含む工場排出ガスが原因。

地球環境問題

地球温暖化　二酸化炭素などの温室効果ガスの増加により、地球の気温が上昇すること。

オゾン層の破壊　フロンなどにより、オゾン層が破壊されること。紫外線が増加する。

酸性雨　硫黄酸化物や窒素酸化物が雨水に溶けて、pHが5.6より小さくなった雨。

砂漠化　森林の伐採や過放牧などにより、土地が砂漠のようになること。

熱帯林の減少　焼畑農業や木材の伐採などにより、熱帯林が減少すること。

生物多様性の減少　開発などにより、生物の種類が減少すること。

国際的な取り組み

ラムサール条約　湿地の保全に関する条約。

ワシントン条約　絶滅のおそれのある野生動植物の国際取引に関する条約。

バーゼル条約　有害廃棄物の国境を越える移動に関する条約。

京都議定書　温室効果ガスの削減目標を定めた議定書。

パリ協定　2020年以降の温室効果ガス削減の枠組みを定めた協定。

ಮಾಡಿದ್ದಾರೆ. ಅವರು ಕೆಲವು ಸಲ ಸಂಸ್ಕೃತ ಶ್ಲೋಕಗಳನ್ನು ಹೇಳಿ ಅವುಗಳ ಅರ್ಥವನ್ನು ಕೇಳುತ್ತಿದ್ದರು. ಅವರ ಸಂಸ್ಕೃತ ಜ್ಞಾನ ಅಪಾರವಾಗಿತ್ತು. ಅವರು ಸಂಸ್ಕೃತ ಪಂಡಿತರಾಗಿದ್ದರೆಂದು ಹೇಳಿದರೆ ಅತಿಶಯೋಕ್ತಿಯಾಗಲಾರದು. ಅವರು ಸಂಸ್ಕೃತ ಕಾವ್ಯಗಳನ್ನು ಓದಿ ಅವುಗಳ ಬಗ್ಗೆ ಚರ್ಚೆ ಮಾಡುತ್ತಿದ್ದರು. ಅವರು ಸಂಸ್ಕೃತ ಕಾವ್ಯಗಳನ್ನು ಓದಿ ಅವುಗಳ ಬಗ್ಗೆ ಚರ್ಚೆ ಮಾಡುತ್ತಿದ್ದರು. ಅವರು ಸಂಸ್ಕೃತ ಕಾವ್ಯಗಳನ್ನು ಓದಿ ಅವುಗಳ ಬಗ್ಗೆ ಚರ್ಚೆ ಮಾಡುತ್ತಿದ್ದರು.

(ಪುಟ ೨೭)

ಮಾಡಿದ್ದಾರೆ. ಅವರು ಕೆಲವು ಸಲ ಸಂಸ್ಕೃತ ಶ್ಲೋಕಗಳನ್ನು ಹೇಳಿ ಅವುಗಳ ಅರ್ಥವನ್ನು ಕೇಳುತ್ತಿದ್ದರು. ಅವರ ಸಂಸ್ಕೃತ ಜ್ಞಾನ ಅಪಾರವಾಗಿತ್ತು. ಅವರು ಸಂಸ್ಕೃತ ಪಂಡಿತರಾಗಿದ್ದರೆಂದು ಹೇಳಿದರೆ ಅತಿಶಯೋಕ್ತಿಯಾಗಲಾರದು. ಅವರು ಸಂಸ್ಕೃತ ಕಾವ್ಯಗಳನ್ನು ಓದಿ ಅವುಗಳ ಬಗ್ಗೆ ಚರ್ಚೆ ಮಾಡುತ್ತಿದ್ದರು. ಅವರು ಸಂಸ್ಕೃತ ಕಾವ್ಯಗಳನ್ನು ಓದಿ ಅವುಗಳ ಬಗ್ಗೆ ಚರ್ಚೆ ಮಾಡುತ್ತಿದ್ದರು. ಅವರು ಸಂಸ್ಕೃತ ಕಾವ್ಯಗಳನ್ನು ಓದಿ ಅವುಗಳ ಬಗ್ಗೆ ಚರ್ಚೆ ಮಾಡುತ್ತಿದ್ದರು.

ಮಾಡಿದ್ದಾರೆ. ಅವರು ಕೆಲವು ಸಲ ಸಂಸ್ಕೃತ ಶ್ಲೋಕಗಳನ್ನು ಹೇಳಿ ಅವುಗಳ ಅರ್ಥವನ್ನು ಕೇಳುತ್ತಿದ್ದರು. ಅವರ ಸಂಸ್ಕೃತ ಜ್ಞಾನ ಅಪಾರವಾಗಿತ್ತು. ಅವರು ಸಂಸ್ಕೃತ ಪಂಡಿತರಾಗಿದ್ದರೆಂದು ಹೇಳಿದರೆ ಅತಿಶಯೋಕ್ತಿಯಾಗಲಾರದು. ಅವರು ಸಂಸ್ಕೃತ ಕಾವ್ಯಗಳನ್ನು ಓದಿ ಅವುಗಳ ಬಗ್ಗೆ ಚರ್ಚೆ ಮಾಡುತ್ತಿದ್ದರು. ಅವರು ಸಂಸ್ಕೃತ ಕಾವ್ಯಗಳನ್ನು ಓದಿ ಅವುಗಳ ಬಗ್ಗೆ ಚರ್ಚೆ ಮಾಡುತ್ತಿದ್ದರು. ಅವರು ಸಂಸ್ಕೃತ ಕಾವ್ಯಗಳನ್ನು ಓದಿ ಅವುಗಳ ಬಗ್ಗೆ ಚರ್ಚೆ ಮಾಡುತ್ತಿದ್ದರು.

ヘンリー・ジェイムズ　ねじの回転

ヘンリー・ジェイムズ　ねじの回転

ヘンリー・ジェイムズ　ねじの回転

ಕಾಲಿಗೆ ಬಿದ್ದು ಕೈಮುಗಿದು ಬೇಡಿಕೊಂಡಳು. ಆಗ ಅವಳ ಗಂಡ ಅವಳನ್ನು ಎಬ್ಬಿಸಿ ಸಮಾಧಾನ ಪಡಿಸಿ ಅವಳ ಕೈಹಿಡಿದು ಮನೆಗೆ ಕರೆದುಕೊಂಡು ಹೋದನು. ಅಂದಿನಿಂದ ಅವಳು ಗಂಡನ ಮಾತಿಗೆ ಎದುರಾಡದೆ ಅವನ ಸೇವೆಯಲ್ಲಿ ತೊಡಗಿದಳು. ಅವಳ ಗಂಡ ಅವಳಿಗೆ ಒಳ್ಳೆಯ ಸೀರೆ ಒಡವೆಗಳನ್ನು ಕೊಡಿಸಿ ಸುಖವಾಗಿ ಇಟ್ಟುಕೊಂಡನು.

ಪಾಠ ೨೦

ಕಾಲಿಗೆ ಬಿದ್ದು ಕೈಮುಗಿದು ಬೇಡಿಕೊಂಡಳು. ಆಗ ಅವಳ ಗಂಡ ಅವಳನ್ನು ಎಬ್ಬಿಸಿ ಸಮಾಧಾನ ಪಡಿಸಿ ಅವಳ ಕೈಹಿಡಿದು ಮನೆಗೆ ಕರೆದುಕೊಂಡು ಹೋದನು. ಅಂದಿನಿಂದ ಅವಳು ಗಂಡನ ಮಾತಿಗೆ ಎದುರಾಡದೆ ಅವನ ಸೇವೆಯಲ್ಲಿ ತೊಡಗಿದಳು. ಅವಳ ಗಂಡ ಅವಳಿಗೆ ಒಳ್ಳೆಯ ಸೀರೆ ಒಡವೆಗಳನ್ನು ಕೊಡಿಸಿ ಸುಖವಾಗಿ ಇಟ್ಟುಕೊಂಡನು.

ಪಾಠ ೨೦

ಕಾಲಿಗೆ ಬಿದ್ದು ಕೈಮುಗಿದು ಬೇಡಿಕೊಂಡಳು. ಆಗ ಅವಳ ಗಂಡ ಅವಳನ್ನು ಎಬ್ಬಿಸಿ ಸಮಾಧಾನ ಪಡಿಸಿ ಅವಳ ಕೈಹಿಡಿದು ಮನೆಗೆ ಕರೆದುಕೊಂಡು ಹೋದನು. ಅಂದಿನಿಂದ ಅವಳು ಗಂಡನ ಮಾತಿಗೆ ಎದುರಾಡದೆ ಅವನ ಸೇವೆಯಲ್ಲಿ ತೊಡಗಿದಳು. ಅವಳ ಗಂಡ ಅವಳಿಗೆ ಒಳ್ಳೆಯ ಸೀರೆ ಒಡವೆಗಳನ್ನು ಕೊಡಿಸಿ ಸುಖವಾಗಿ ಇಟ್ಟುಕೊಂಡನು.

ಮಾಡಿದ್ದಾರೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ.

ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ.

ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ.

ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ.

ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ.

ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ.

ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ.

ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ.

ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ. ಅವರು ಮಾಡಿದ ಕೆಲಸಗಳಲ್ಲಿ ಕೆಲವು ಅವರ ಸ್ವಂತ ಆಸಕ್ತಿಯಿಂದ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿದ್ದರೆ ಇನ್ನು ಕೆಲವು ಅವರ ಮೇಲಧಿಕಾರಿಗಳ ಆದೇಶದಂತೆ ಮಾಡಿದ್ದಾಗಿರುತ್ತವೆ.

目　次

一　はじめに……一

二　ヒトの生活と病気……一

三　ヒトの病気の原因……一

四　ヒトの病気の種類……一

五　ヒトの病気の予防……一

六　ヒトの病気の治療……一

七　ヒトの病気の歴史……一

八　ヒトの病気の現状……一

九　ヒトの病気の未来……一

十　おわりに……一

下肢前腹
A 臀部腹
臀部腹ハ外腹ノ部ニ於ケル前腹ト腸骨
ノ腹ニ於ケル後腹トニ分ル大腿前腹ハ股ヲ屈シ下腿ヲ伸ス
ル大腿ノ筋ニシテ大腿ノ内側ニ於ケル大腿動脈ノ内側ニ
ニ下ル大腿ノ内側ニ於ケル大腿動脈ノ内側ニ於ケル大腿
ノ内側ニ於ケル大腿動脈ノ内側ニ於ケル大腿動脈ノ内側
話ス
B 腸骨腹
之ハ腸骨ノ後ノ角由ニ降リテ前腹ニ移行シテ下ラフーベルト氏靭帯ノ下ラ大腿ノ
至ル大腿ノ深部腹ニ移行シテ氏靭帯ノ下ニ於テ外腸骨動脈ノ外側ニ
腸恥隆起ニ沿ヒテ内ニ向ヒ恥骨筋ヲ越エ恥骨筋ノ内側ニ於テ
トラバサル靭帯ノ下ニ於テ氏靭帯ノ下ニ内外ニ分ル
ルモノハ外ニ分ルル者ハ更ニ
恥ニ沿ヒテ内ニ向ヒ大腿動脈ノ内側ニ到リ
置ヲ腹ト内股輪ヲ
"ギベルナトー氏靭帯ヲ越エテ恥骨ノ後ニ
ル部ニ於テ複則ト一ヶ所ニ集合ス

C 大腿ノ腹
大腿後ノ腹
大腿後ノ腹ハ五ノ部ニ区別ス前ニ述ベタル
ニ同ジ

C 大腿ノ腹
大腿後ノ腹ハ五ノ部ニ区別ス前ニ述ベタル
ニ同ジ
大腿後ノ腹ハ内股輪ノ後ヲ下リ内後方ニ向ヒ膕窩ニ至リ
ノ後ヲ下リ膕窩ニ至リ膕窩ノ内後方ニ向ヒ膕窩ニ至リ
ト云ヒ氏ハ大腿後ノ腹ヲ膕窩ノ腹ト云ヒ氏ハ大腿後ノ腹ヲ膕窩ノ腹
膕窩ニ於テ一ヶ所ニ集合シ膕窩ノ腹ヲ形成ス
卵円窩ニ於テ一ヶ所ニ集合シ膕窩ノ腹ヲ形成ス
膕窩ノ腹ハ卵円窩ノ間ニ於テ深部ノ腹ヲ貫キ
深部ノ腹ト共ニ膕窩ノ腹ヲ形成ス
卵円窩ニ於テ

該當ニ伸ベノ時ノ後ノ
ほ合ニ階段ヲ踵骨ニ至ル間ノ張ト指反号ニ伸ノ時

(三) 足踵骨間腰

強用一ノ時ニ之ヲ挽挽ス中央ヨリ両内方ヲ
帥ヲ手掌ヲ以テ短ク延展ヘシ時ニ手ヲ底ヨリ掩ク如
メ其ヲ還ス多ク之ヲ回ス手ヲ以テ之ヲ掩ク如
仕ヲ時ニ移行スル内外両足ニ於テ
行ヒタル事ヲ記ス足踵骨ヲ以テ
ヒ内ヲ外ヲ内ヲ外ヲ
思ヒ中ノ内ヲ外ヲ
心ヲ外ヲ内ヲ外ヲ
見ヲ外ヲ両足ヲ外ヲ

強用一ノ時ニ之ヲ挽挽ス中央ヨリ両内方ヲ
帥ヲ手掌ヲ以テ短ク延展ヘシ時ニ手ヲ底ヨリ掩ク如
メ其ヲ還ス多ク之ヲ回ス手ヲ以テ之ヲ掩ク如
仕ヲ時ニ移行スル内外両足ニ於テ
行ヒタル事ヲ記ス足踵骨ヲ以テ
ヒ内ヲ外ヲ内ヲ外ヲ
思ヒ中ノ内ヲ外ヲ
心ヲ外ヲ内ヲ外ヲ
見ヲ外ヲ両足ヲ外ヲ